

横須賀市 博物館報



— 目 次 —

博物館事業報告 平成29年度(2017年4月～2018年3月)

1. 展示教育普及事業	
i. 主催事業	1
ii. 共催・協力事業	19
iii. 学校教育等指導・協力	20
iv. 委員・団体協力等	23
v. 博物館資料の利用	27
vi. 博物館施設の利用(調査・研究)	29
vii. 博物館施設の利用(団体見学を含む)	29
2. 収集調査研究事業	
i. 調査・研究	30
ii. 委員・指導・協力等	33
iii. 研究発表	34
iv. 執筆(研究発表を除く)	35
v. 寄贈資料	35
vi. 借用資料	36
3. 分類整理保存事業	
i. 登録資料	36
ii. 文化財害虫と空中浮遊菌類のくん蒸および調査	36
iii. 国指定重要文化財スチームハンマーの定期保守点検・保存環境測定	36
4. 管理事業	
i. 人事	37
ii. 入館者統計	37
iii. 予算	37
iv. 営繕工事	37
v. 消防訓練	38
vi. 研修会等の実施・参加	38
○職員名簿(平成29年度)	38
【表紙写真解説】	38

博物館事業報告

平成 29 年度(2017 年 4 月～2018 年 3 月)

1. 展示教育普及事業

i. 主催事業

1) 特別展示

「なつかしの道具展 ～遊んで学ぶ博物館～」

担当：瀬川

毎年実施している小学校 3 年社会科「昔の道具とくらし」に対する授業支援の内容を一般来館者向けにしながらも、小・中学生にも分かりやすい展示にした。小学生にとって祖父母の時代、父母の時代を目安として昔の道具を分けて展示した。一般的な昔の道具だけでなく、職人の道具や横須賀ゆかりの人物である井上成美のオルガンも展示した。また、漁師のハレ着である「万祝」と「ワタから布になるまで」の過程を映像で展示し、博物館オリジナル万祝を制作した。開催期間中は輪投げや投げコマ、けん玉などの昔の遊びを館内各所で体験できるようにした。

開催場所

本館特別展示室 人文館 2 階古民家

開催期間

12 月 16 日～30 年 4 月 8 日

見学者数

16,049 人

展示解説

12 月 16 日

展示内容

解説パネル全文と展示資料一覧を以下に掲載。

小学生・中学生のみなさんへ

ここにある昔の道具の多くは、みなさんのお父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんが子どものころに家や学校などで使っていたものです。みなさんの今のくらしとくらべてどこがちがうでしょうか？それとも、あまりちがわないでしょうか？実は昔の道具の多くは、今わたしたちが使っている道具のお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんでもあるのです。昔の道具をよーく見るとそれがわかるかもしれません。人も道具も昔と今はつながっているのです。

昔、小中学生だったみなさまへ

この特別展は、主に小学校 3 年社会科「昔の道具とくらし」の授業内容に合わせたものです。毎年、市内

の小学校 3 年生の多くが博物館に「昔のくらし」を学びに来ています。歴史の授業は小学校 6 年生からはじまるのですが、市内の小学校 3 年生の多くは一番身近な家や地域の歴史を博物館で学びはじめます。

大人のみなさまにもお楽しみいただけるよう、なつかしい道具や珍しい道具も展示しているほか、2 階古民家では新たに映像展示も導入いたしました。昔、小中学生だったみなさまにとっても新たな学びや発見があるはずです。なお、展示している道具が使われていた時期は地域や家庭によって違いますので、おじいさん・おばあさん／お父さん・お母さんの頃という分類は大まかなものとしてご理解ください。

また今回は、未就学児とその保護者の方にも親しんでいただける博物館を目指し、けん玉やお手玉などの昔の遊び道具を館内にご用意しております。

おじいさん・おばあさんがなつかしい道具

このコーナーにある道具を見て、なにか気づくことはありませんか？

そう、電気を使う道具がほとんどありません。電気を使う道具もありましたが、値段が高くてなかなか買えませんでした。昔のアイロンもストーブも炭などを燃やして熱にしましたし、冷蔵庫も電気を使わず氷の中に入れて冷やすものが多く使われていました。また、最初のころの電気炊飯器は保温ができませんでした。それでも、カマド（下の階の古民家にあるよ）でごはんをつくるよりも楽でしたし、食べ物を保存しておける氷冷蔵庫がある家は料理をつくるのが楽になりました。

お父さん・お母さんがなつかしい道具

みなさんのお父さんやお母さんがうまれたころは、私たちの身の回りにある機械や電化製品にとっても親がうまれたころといえます。ほとんどの家にはカラーテレビ、冷蔵庫、洗濯機があり、子どもたちはテレビゲームで遊んでいました。しかし、電話は家に一台しかなく、コンピューターは値段が高くて普通の家にはありませんでした（ワープロはありました）。それでもおじいさんやおばあさんの時代からくると家事が楽になり、子どもたちの遊びも変わっていったのです。

職人の道具

今まで見てきた道具は、家でのかくらしのために使わ

れていた道具でした。ここにあるのは、職人の道具です。職人とはお客さんのためにモノを作ったり加工したりすることを仕事としている人で、きびしい修行をつんで一人前の職人としてみとめられます。横須賀には、昔からいろいろな種類の職人さんがいましたが、今では少なくなってしまうました。それでも、みなさんのご近所にも、モノをつくったり加工したりする職人さんのお店がきっとあるはずです。

なつかしの茶の間

小中学生のみなさんは、茶の間を知っていますか？茶の間とは、今でいうリビングのことで、家族が食事をしたりおしゃべりをしたりする部屋のことです。茶の間には、ちゃぶ台や茶だんすなどがあり、夕ごはんのときは家族でその日の出来事を話し合ったりします（サザエさんをイメージしてください）。このような茶の間は、おじいさんやおばあさんが子どものころは普通でした。テレビのある家も少なかったので、家族で話をしながらごはんを食べていたことでしょう。ご近所ともいっぱい交流があり、今よりも人と人とが顔を合わせてくらししていた時代だと思います。それが面倒なこともあります。何かあったらみんなが助け合っていたのかもしれない。

漁師の晴れ着 万祝

万(まい)祝(わい)とは大漁祝いの着物のことです。もともとは大漁祝いの宴席のことを指していたのが、その宴席で船主や網元から配られる晴れ着のことを指すようになりました。万祝の発祥は江戸時代後半の房総半島といわれ、房総半島には各地から万祝の注文がきたようです。万祝の分布は広く、静岡県から青森県（北海道の一部にも）まで確認されています。また、万祝は日本海側にはなく、その分布から黒潮が関わっていると考えられています。様々な漁法が黒潮に乗って北へと伝わった際に万祝も伝わったのでしょう。

青森県八戸市の万祝①

この万祝の絵柄を見ると、マグロ漁船の第11宝福丸が昭和31年の大漁を祝って製作したものであることがわかります。毎年これを着て、お正月は神社に参拝したようです。

三浦半島や房総半島で着られていた万祝は綿でできていますが、この万祝は絹でできており、東北地方にある万祝の特長のひとつです。

青森県八戸市の万祝②

この万祝は、昭和7年頃にイワシのメ粕問屋が配ったもので、「タイリョウバンテン」という名前で資料登録されています。東北地方では、万祝のことを「ハンテン」や「カンバン」と呼ぶことが多いのです。絵柄はイワシの巻き網漁の絵で、背中への鶴のところにメ粕問屋の印があります。

岩手県大船渡市の万祝

この万祝は、大正10年頃に製作されたもので「大漁カンバン」という名前で資料登録されています。袖に「大漁」の文字が施されるのも東北地方の万祝の特徴です。

大船渡に住んでいた漁師の万祝ですが、漁場は宮城県の金華山沖だったようです。大船渡の漁船が金華山沖で漁をしたのか、大船渡の漁師が宮城県の漁船に出稼ぎに行っていたのかは定かではありませんが、漁師の活動範囲の広さがわかります。

展示資料一覧

昭和11年製の消防車・消火弾・鳶口・陶器製の消火器・氷冷蔵庫・昔の教科書・わらじあみ・初期の電気炊飯器・おひつ・おひつ入れ・ビンボウドックリ・黒電話・蓄音機・洗濯板・たらい・火のし・炭火アイロン・台秤・棒秤・かつお節削り・製麺機・殺虫剤噴霧器・謄写版・電子計算機・赤電話・初期のプッシュフォン・家具調テレビ・プリントゴッコ・初期のワープロ・ワープロ・ゆでたまご器・マイコン式炊飯器・98NOTE・昔の缶ジュースや調味料・昔のベビーパウダー・ウォークマン・ポケベル・携帯情報端末（PDA）・木挽き鋸・桶屋の鉋・傘用ミシン・電気パーマ器・理髪店の椅子・美容師免許状・理容師免許状・柳行李・そろばん・柱時計・茶箆筒・鏡台・針箱・足踏みミシン・置き薬・ちゃぶ台・ブリキの衣装箱・真空管ラジオ・白黒テレビ・井上成美ゆかりのオルガン・横須賀市歌楽譜・水桶・博物館オリジナル万祝・ニンテンドーゲームキューブ・P S O N E・NINTENDO64・セガサターン・たまごっち・ゲームボーイ・メガドライブ・羽子板・けん玉・めんこ・かるた・だるま落とし・ひねり独楽・お手玉・ツインファミコン・ドリームキャスト・鉄人28号ブリキ人形



特別展示室入口と昭和11年製消防車



おじいさん・おばあさんがなつかしい道具



職人の道具



茶の間



井上成美ゆかりのオルガン



コンピューターゲーム



各地の万祝解説パネル



博物館オリジナル万祝

2) 企画展示

2-1. 「横須賀製鉄所の同窓生」

担当：菊地

平成28年度の企画展示を継続し、6月4日まで開催した。内容の詳細は前号13～15ページに掲載。

展示解説

4月2日、5月4日

見学者数

8,882人（平成29年度分）

2-2. 「実物のない展示会 ～自然科学と二次資料～」

担当：柴田・萩原・内船・山本

これまでに当館が収集した自然誌資料のうち、レプリカ、模型、写真などの二次資料を展示した。二次資料は、研究や展示、実物資料の予備として博物館には不可欠な資料である。この展示では、二次資料の意義を紹介しつつ、恐竜の化石レプリカなど見応えのある二次資料を市民に広く公開した。企画展示オリジナルのスタンプを設置した。



開催場所

本館特別展示室

開催期間

7月15日～11月5日

見学者数

17,028人

展示解説

7月15日、8月26日、10月1日、11月4日

展示内容

各解説パネルの全文及び会場風景写真を以下に掲載。

ごあいさつ

博物館の魅力の1つは実物を見たり、実物に触れたりできることです。これら実物の資料は一次資料といえます。一方、博物館では一次資料の複製や記録とい

った実物でない資料も数多く収集しています。これらは二次資料と呼ばれます。二次資料は実物ではないため、「ニセモノ」とも言えます。そのため二次資料にネガティブなイメージを持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、二次資料は博物館の研究や展示、教育活動のために不可欠な資料です。

今回の展示ではこれまでに当館が収集した自然誌資料のうち、レプリカや模型に代表される二次資料を数多く展示しました。恐竜の化石レプリカやバードカービングなど見応えのある二次資料を楽しみながら、「ニセモノ」である二次資料の意義と、博物館の資料収集・保存について理解を深めていただければ幸いです。

この展示の開催のために、以下の方々・団体にご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

協力機関・協力者一覧（敬称略）

神奈川県立生命の星・地球博物館、横須賀木鳥会、鈴木 進（三浦半島活断層調査会）

平成29年（2017年）7月15日

横須賀市自然・人文博物館

1. 自然科学と二次資料

二次資料とは？

実物の資料を一次資料というのに対し、実物の複製や実物の記録を二次資料または間接資料といいます。

【一次資料の例】

- 標本資料（液浸標本、はく製標本、押し葉標本、化石・岩石標本、地層剥ぎ取り標本など）
- 製作資料（復元図の原図、論文原稿など）

【二次資料の例】

レプリカ、模型、写真、イラスト、映像、一次資料のデータや記録、図書資料

なぜ二次資料を集めるの？

【研究のため】

世界に1つしかないような貴重な資料の場合、研究のために閲覧したくても資料を所蔵する博物館等に行くには大変な手間がかかります。また、実物を研究中に破損させてしまうこともありえます。しかし、複製された二次資料ならば、安心して閲覧したり計測したりできます。実物から転写された情報のみ、研究に使えます。

例1：型取りして作られたアンモナイトのレプリカで

形状を研究…○

例2：着色したカエルのレプリカでカエルの色彩を研究…×

【展示のため】

(1) 実物が手に入らない貴重な資料でも、レプリカや模型ならば展示できます。展示で伝えたいストーリーをわかりやすく構成できます。

(2) 劣化しても新しいレプリカや模型に交換できます。展示資料は照明に含まれる紫外線や温湿度の変化などによって少しずつ劣化しています。

(3) 展示室に入らない大きな資料や、顕微鏡でなければ見えない小さな資料は、縮尺を変えた模型を使ってわかりやすく展示できます。

(4) 写真や映像を使って実物資料を補足できます。

【予備のため】

一時資料が破損・汚損したときの予備とします。もちろん、一時資料は大切に保存しなければなりません。

【情報の蓄積のため】

一次資料の記録も二次資料に含まれます。一次資料の採集地や採集日、採集者などの基礎的なデータや記載文書などは、研究や保存、展示を円滑に進めるために大変重要です。

2. レプリカ 実物の型取りや計測によって複製したもの

一般的にはシリコーン樹脂やラテックス樹脂で型取りし、それに石膏や合成樹脂を流し込んで作られます。型取りが難しい場合は、実物の詳細な計測に基づいて作られることもあります。化石レプリカは博物館の二次資料の代表で、研究や展示に活用されてきました。実物の展示が難しいへビなどの動物のレプリカが作られることもあります。

ここではおもに当館が所蔵する化石レプリカを展示しています。

3. 模型 縮尺の変更、復元や推定を加えて製作したもの

大きすぎて展示室や展示ケースに入らないものは縮小して、微生物など肉眼では見えない小さなものは拡大して模型が作られます。失われてしまった部分を復元したり、推定を加えたりして作ることで、見学者がわかりやすい模型を作ることができます。

ここでは推定を加えて復元した古生物の模型や、木

彫りの鳥の模型であるバードカービング、微生物やウミウシ類の拡大模型などを展示しています。

4. 写真・イラスト 景観や動植物の記録

標本写真、野外で撮影した景観写真、生き物と周囲の様子を記録した生態写真も二次資料です。写真にはサイズを自由に変えられる利点があり、例えば小さな生き物の標本も拡大して展示できます。生き物の細密画やイラストも実物の特徴を効果的に伝えることができます。近年はコンピュータの普及により蓄積できる画像の量が飛躍的に多くなり、写真やイラストは博物館の重要な資料の1つとなりました。

ここでは学芸員おススメの写真やイラストを紹介します。

5. 昆虫ぬり絵コーナー

実物の標本をモデルに、チョウの翅のもようを描いてみよう！

展示そのものはもちかえれなくても、形や色を紙に描くことで、家にかえっても思いだしたり楽しんだりすることができます。

観察しながら描くことで、こまかい形や色の組み合わせなど、今まで気付かなかった特徴が見つかることでしょう。

展示資料

化石レプリカ：ミウラスダレハマグリ、カニエハマグリ、ハヤマスエモノガイ、ダイオウキヌタレガイ、アイノセラス (3点)、シューパロセラス、エゾオキナエビス、アジアノボダス、カマラサウルス (頭骨)、コエロフィシス、グララター、アロサウルス (頭骨)、アロサウルス (人指し指)、ケラトサウルス (上あご)、アーケオプテリクス、エンクリヌス、プテロダクティルス、エラスモサウルス類、ナウマンゾウ (上腕骨)、ナウマンゾウ (肩甲骨)、ナウマンゾウ (臼歯つき下あご)、ミエゾウ (下あご)、パラプロントボダス、ミウラニシキ、ヤベオオツノジカ (角)、ムカシオオホホジロザメ、ムカシオオホホジロザメ (歯の生え変わり)、ギガントカプルス、ユーバリセラス、シュードカリコセラス、デスモスチルス (2点)

模型：アノマロカリス、活断層トレンチ調査模型、放散虫 (6件)、有孔虫 (15件) 動物の頭骨レプリカ (3件)、バードカービング (16件)、ウミウシの拡大模型 (21件)、きのこの模型 (21件)



草食恐竜の歩行跡パラプロントポダス



放射虫と有孔虫の模型



化石レプリカ



ウミウシの拡大模型



動物の頭骨レプリカ



きのこの模型



バードカービング



ナウマンゾウに
さわってみよう



昆虫ぬり絵コーナー

3) 常設展示 展示更新等

○人文館 3階ラウンジ, 昔の遊びコーナー開設. 12月16日

担当: 瀬川

○人文館 2階古民家内, 映像展示「万祝」「綿が布になるまで」追加. 12月16日

担当: 瀬川



古民家内映像展示

○自然館 2階森林のジオラマ内, ホタルLED追加. 平

成 29年度全国科学博物館等助成事業による. 「季節展示 ホタルのヒカリ」にて点灯. 6月10日

担当: 内船

○馬堀自然教育園学習棟内, アクアテラリウム設置. 平成 29年度全国科学博物館等助成事業による.

30年2月14日

担当: 内船・山本



○本館 2階受付カウンター, テラリウム設置. 平成 29年度全国科学博物館等助成事業による.

30年2月14日

担当: 内船・山本

4) トピックス展示

4-1 自然館 (自然館 1階トピックス展示コーナー)

展示名	担当者	開催期間	見学者数	内容
桜 ~横須賀市の木とキになる害虫~	内船 山本	3月18日~ 4月16日 (28年度から継続)	3,189人 (29年度分)	前年度からの継続展示. 内容の詳細は前号に記載.
三浦・房総半島の古い岩石	柴田	4月22日~ 7月2日	8,941人	三浦半島や房総半島から採集した枕状溶岩や蛇紋岩などの岩石を展示した. 【展示資料】玄武岩(枕状溶岩)(3件), 玄武岩, はんれい岩(7点), 凝灰岩(5件), 泥岩(2件), 平行葉理砂岩, 礫岩(国際博物館の日, 地質の日記念行事)
カブトムシを調べよう	内船	7月15日~ 8月27日	7,802人	2009年より当博物館が実施している「三浦半島カブトムシ移動調査」の実施期間にあわせ, 調査の概要やこれまでの成果の一部を紹介し, 研究活動への理解を深める.
横須賀でみられる秋の七草	山本	9月2日~ 10月22日	6,450人	横須賀やその周辺地域で見られる「秋の七草」の標本7点, 写真4点を展示した.
基礎から学ぼう昆虫学成果展	内船	10月28日~ 11月19日	2,854人	今年度で開催した「基礎から学ぼう昆虫学」の講師や参加者が制作した標本・レポート・写真を展示した.
イヌ・犬・戌年	自然	11月25日~ 30年1月14日	7,199人	平成30年の干支「戌(いぬ)」にちなみ, 犬のなかまであるタヌキとキツネの剥製標本や犬の頭骨標本, 市民提供の愛犬写真パネル, 犬にちなんだ名前の植物標本などを展示した.
新着標本 2018	自然	30年1月20日 ~3月11日	8,865人	未公開の自然誌標本を厳選して展示・公開した. 【展示資料】地球科学: ドロマエオサウリブス 昆虫: ブドウトリバ, キマダラカメムシ, シンジュキノカワガ 植物: ワタ, ヤマゴボウ, アマナ, ヒメケイヌホオズキ, 寄贈頭骨コレクション(イボイノシシ, キョン, クロコダイ, スプリングボックなど), マムシの透明骨格標本
桜・さくら・サクラ	山本	30年3月17日 ~4月15日 (30年度へ継続)	3,443人 (29年度分)	サクラの標本2点の他, 市民から提供いただいた桜染めスカーフや桜を題材にした文学作品を展示した. また, 昨年に引き続いて南関東への侵入が懸念されている外来昆虫クビアカツヤカミキリについても紹介した.



「三浦・房総半島の古い岩石」



「基礎から学ぼう昆虫学成果展」



「カブトムシを調べよう」



「イヌ・犬・戌年」



「横須賀でみられる秋の七草」



「新着標本 2018」



「桜・さくら・サクラ」

4-2 人文館（人文館2階エントランストピックス展示コーナー）

展示名	担当者	開催期間	見学者数	内容
これなあに？	瀬川	1月12日～ 4月16日 (28年度から継続)	2,555人 (29年度分)	前年度からの継続展示。内容の詳細は前号に記載。
貝塚動物園ー横須賀にもオオカミがいた？ー	稲村	4月22日～ 8月18日	16,560人	縄文時代の貝塚から出土した、動物園や水族館でもおなじみのオオカミ・イノシシ・シカ・イルカなどの骨のほか、牙や角で作られた装身具や道具などを展示した。 (国際博物館の日記念行事)
東京湾の安全ー海上保安庁のできた頃ー	安池	8月20日～ 11月19日	11,127人	1948(昭和23)年4月27日海上保安庁法が公布され、5月1日に海上保安庁が発足しました。その始まりと活動の一端を市民の皆さんに知っていただくため、関連資料を展示した。
むかしの写真ー旧海軍の絵はがきー	菊地	11月25日～ 30年3月4日	15,822人	当館が所蔵する旧海軍の絵はがきについて、軍艦のみならず、横須賀に建設された旧海軍の建築を交えて展示した。
何につかったの？ー不思議な形の土器たちー	稲村	30年3月10日～ 6月10日 (30年度へ継続)	4,431人 (29年度分)	古代の土器のなかには、現代人の私たちには何に使ったのかわからないものが数多くある。縄文時代から古墳時代にかけて不思議な形をした土器を展示し、何に使ったのかを考えてもらった。



「貝塚動物園ー横須賀にもオオカミがいた？ー」



「東京湾の安全ー海上保安庁のできた頃ー」



「むかしの写真ー旧海軍の絵はがきー」



「何につかったの？ー不思議な形の土器たちー」

5) 季節展示（自然館2階・人文館1階の入り口および周辺などに季節感を取り入れた装飾展示を実施した）

行事名	担当者	開催期間	開催場所	内容
ホタルのヒカリ	内松	6月11日～ 7月2日	自然館2階「森林のジオラマ」	29年度に導入した「ホタルLED」を点灯させるとともに、ジオラマのイメージである馬堀自然教育園の魅力を解説。
七夕	山本 瀬川	6月24日～ 8月6日	自然館2階・人文館1階入り口周辺	自然、人文それぞれの観点から「七夕」に関する解説パネルを設置し、馬堀自然教育園の園内整備で伐採したササを利用して装飾を行った。
十五夜	山本 瀬川	9月30日～ 11月5日	自然館2階・人文館1階受付周辺	博物館実習生がグループワークを通して企画した、「十五夜」に関する解説パネルと関連する博物館資料を展示した。
ハロウィン	山本	10月28日～ 11月5日	人文館1階受付周辺	地元農家から提供いただいた三浦半島で作られている17品種のカボチャを展示した。カボチャの植物学的な解説の他、横須賀製鉄所とハロウィン行事との関連についての解説パネルを設置した。



「十五夜」(自然)



「十五夜」(人文)



「ハロウィン」

6) 展示解説・ガイドツアー

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
企画展示 「横須賀製鉄所の同窓生」	菊地	4月2日 5月4日	特別展示室	42人 23人 延べ65人	開催中の企画展示について解説をおこなった。 (国際博物館の日記念行事)
文化財収蔵庫公開 国指定重要有形民俗文化財 「三浦半島の漁撈用具」	瀬川	5月3日	文化財収蔵庫	35人	国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」について、漁具・漁法から信仰に至るまで幅広く安室研究員が解説した。 (国際博物館の日記念行事)
人文館常設展示解説 (2階民俗・歴史)	安池	5月3日	2階展示室	35人	人文館2階に展示してある、民俗や歴史に関する展示資料について、担当学芸員が解説した。 (国際博物館の日記念行事)
人文館常設展示解説 (1階考古)	稲村	5月5日	1階展示室	6人	人文館1階に展示してある、土器や石器など考古学に関する展示資料について、担当学芸員が解説した。 (国際博物館の日記念行事)
企画展示 「実物のない展示会 ～自然科学と二次資料～」	柴田	7月15日 8月26日 10月1日 11月4日	特別展示室	6人 14人 6人 31人 延べ57人	企画展示「実物のない展示会～自然科学と二次資料～」について解説した。
特別展示 「なつかしの道具展 ～遊んで学ぶ博物館～」	瀬川	12月16日	特別展示室	22人	各コーナーの意図や展示資料の詳細、人文館2階古民家の映像展示について解説した。
自然館ミュージアムトーク	自然	4月2日 5月6日 11月3日 12月16日 30年3月25日	自然館展示室	14人 7人 11人 16人 8人 延べ56人	自然部門学芸員が、担当する常設展示や参加者とのフリートークを通して自然に対する理解の向上を図った。
天神島ガイドツアー	長島	毎月第4日曜 全12回のうち 10回実施 (10/22、12/24 は中止)	天神島臨海 自然教育園	延べ102人	季節やその時々々のトピックを踏まえて、現地職員が自然教育園の概要と自然の解説を行った。 (4/23:11人、5/28:20人、6/25:4人、7/23:18人、8/27:16人、9/24:9人、10/22:中止、11/26:7人、12/24:中止、30/1/28:4人、2/25:4人、3/25:9人)



「実物のない展示会
～自然科学と二次資料～」



「なつかしの道具展
～遊んで学ぶ博物館～」



天神島ガイドツアー

7) 博物館教室

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
「そだててしらべる！ カブトムシ」 (全2回)	内船	5月6日, 7月15日	講堂	延べ36人	身近な昆虫であるカブトムシを教材に、飼育体験を通じて昆虫の形や生態について学ぶ。初回に幼虫を配布し、羽化したカブトムシを2回目に持参していただいた。また、当館の「カブトムシ移動調査」について理解を深める機会とした。
「三浦半島の歴史」 (全9回)	人文	5月10・17・ 24・31日, 6月7・14・ 21・28日, 7月5日	第1学習室, 第2学習室, 野外	延べ285人	歴史の入門編として、三浦半島に人が住み始めた先土器時代から近代までの歴史を、人文部門の学芸員全員が分担して概説した。期間中の2回は古代の遺跡や近代の建物などを現地で見学した。
「基礎から学ぼう昆虫学」 (全4回)	内船	5月28日, 6月11日, 7月9日, 8月27日	本館, 中央公園, 馬堀, 観音崎	延べ99人	身近な昆虫観察に必要な知識・技術を習得し、地域の自然環境を継続的にモニタリングする人材の育成を目標とした。講義・実技・フィールドワークを通じた体験的な学習を実施し、学習の振り返りとして『キソコン通信』を参加者に配布するとともに、学習成果を本館にて展示した(本誌8ページ参照)。最終回では、本館に隣接する中央公園でセミの抜け殻調査を実施した。
「植物標本のつくりかた」 (全2回)	山本	6月17・24日	講堂, 中央公園	延べ28人	自然史標本の意義と標本を収蔵する博物館の役割について解説した後、実際に植物を採集し、標本を作成した。
「三浦半島の考古学」 (全8回)	稲村	10月11・18・ 25日, 11月1・8・15・ 22・29日	第2学習室, 野外	延べ245人	三浦半島の遺跡からは縄文土器をはじめとして、須恵器・陶器・磁器のほか、埴輪や瓦なども出土する。これらのやきものを通して、他地域との交流も含めた三浦半島の歴史について学習した。
「三浦半島の自然誌」 (全6回)	自然	11月9・16・ 23・30日, 12月7・14日	講堂	延べ88人	自然部門学芸員及び研究員が、それぞれの担当分野の視点から三浦半島の自然について講義を行った。
「三浦半島の都市建築史」 (全4回)	菊地	11月11・18・ 25日, 12月2日	第1学習室, 野外	延べ45人	横須賀・三浦半島における幕末以降の近代化と都市化について、歴史的建造物を通して考える行事とした。当該年度は、横須賀造船所の改革と都市形成への影響について中心に考察した。
「三浦半島の民俗」 (全2回)	瀬川	12月21日, 30年1月7日	第1学習室, 野外	延べ29人	正月行事のオビシヤについて解説し、葉山町の御霊神社にて実際のオビシヤを見学した。
「横須賀ジオツアー (地層見学講座)」 (全5回)	柴田	30年1月20日, 2月3・17日, 3月3・17日	講堂, 野外	延べ159人	室内で三浦半島の地球科学について解説し、その後観音崎、荒崎、油壺、野比海岸で地層観察を実施した。



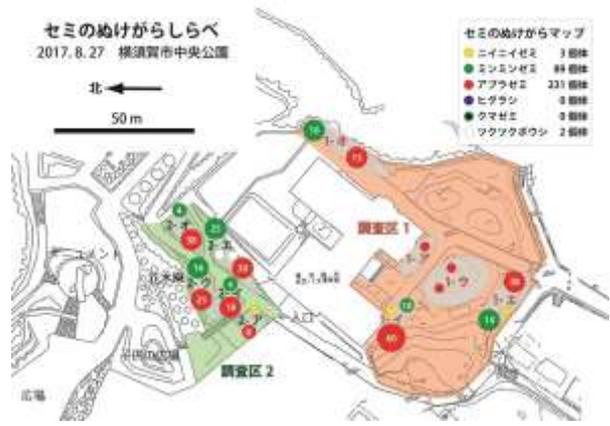
「そだててしらべる！カブトムシ」



「基礎から学ぼう昆虫学」



「三浦半島の自然誌」



「セミのぬけがらしらべ」2017年結果



「植物標本のつくりかた」



「三浦半島の考古学」(館内学習)



「横須賀ジオツアー (地層見学講座)」



「三浦半島の考古学」(野外学習)

8) 自然観察会・野外学習

8-1 自然観察会(自然)

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
「海藻入門」	山本	4月29日	天神島 臨海自然教育園	17人	51種の海藻を観察し、海藻押し葉を作成した。 協力：東京海洋大学藻類学研究室、相模湾海藻調査会
「鷹取山の地層」	柴田	5月14日	鷹取山周辺	30人	鷹取山の地層を観察し、三浦半島の地質の特徴について解説した。 協力：三浦半島活断層調査会 (国際博物館の日、地質の日記念行事)
「横須賀しぜん散歩」	内船・ 山本	5月20日	荒崎公園	12人	本市環境政策部自然環境共生課と実施した調査の成果を広く普及する目的で実施した。しょうぶ園から平作川上流域までを散策し、それぞれの環境に特徴的な植物や昆虫を観察した。 共催：自然環境共生課 協力：横須賀植物会、三浦半島昆虫研究会 (国際博物館の日記念行事)
「干潟の生き物」	萩原	5月27日	長井	9人	横須賀に残された貴重な干潟環境に生息する貝やカニ、ヤドカリなどの生物を観察した。 協力：相模湾海洋生物研究会 (国際博物館の日記念行事)
「ホタルの観察」	内船	①6月10日 ②6月17日	馬堀自然教育園	57人 49人 延べ106人	ホタルの生態や自然教育園で取組んでいる園内整備および生物保護活動の成果について解説を行い、ホタル類を観察した。①ではゲンジボタル60個体、②ではゲンジボタル40個体、ヘイケボタル20個体が観察された。
「ウミウシの観察」	萩原	6月10日	天神島 臨海自然教育園	28人	海の宝石とも呼ばれる美しい貝のなかまウミウシ類を天神島臨海自然教育園の磯で探し、14種類を観察した。
「秋のきのこ観察」	山本	10月14日	馬堀自然教育園	中止	雨天のため中止。
「天神島の地層」	柴田	10月21日	天神島 臨海自然教育園	1人	雨天のため天神島ビジターセンターにて天神島の地層について解説した。
「つくって学ぶ! しだ・こけテラリウム」	山本	11月5日	馬堀自然教育園	23人	シダやコケを中心とした植物の解説を行いながら馬堀自然教育園を散策した。散策後は園内で採集したシダやコケを詳細に観察し、それらを用いてテラリウムを作成した。
「身近な植物でつくる クリスマスリース」	山本	12月9日	講堂	17人	冬季に野外で見られる果実や種子を手にとって解説し、それらを用いてクリスマスリースやツリーなどの装飾品を作成した。



「海藻入門」



「鷹取山の地層」



「横須賀しぜん散歩」



「ウミウシの観察」

8-2 野外学習(人文)

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
「近代化遺産ツアー1」	菊地	6月23日	逸見	19人	日本遺産構成文化財でもある「国登録有形文化財逸見浄水場(逸見総合管理センター)」を中心に見学した。
「ハレの日めぐり」	瀬川	8月16日	三浦市三戸浜	12人	国指定重要無形民俗文化財「三戸のお精霊流し」を見学した。
「三浦半島の遺跡めぐり1」	稲村	12月1日	佐島	21人	主要な遺跡群を現地で見学し、各遺跡がもつ特徴やその時代背景などを学芸員が解説した。
「近代化遺産ツアー2」	菊地	30年2月16日	船越～浦郷	24人	横須賀市船越・浦郷地区の旧軍施設などの歴史的建造物を巡りながら都市形成過程を現地で確認した。
「三浦半島の遺跡めぐり2」	稲村	30年3月23日	芦名～秋谷	32人	主要な遺跡群を現地で見学し、各遺跡がもつ特徴やその時代背景などを学芸員が解説した。



「近代化遺産ツアー1 (逸見)」



「近代化遺産ツアー2 (船越～浦郷)」



「三浦半島の遺跡めぐり1 (佐島)」



「三浦半島の遺跡めぐり2 (芦名～秋谷)」

9) 夏休み企画

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
夏休みクイズラリー	萩原・菊地	7月15日～8月27日	展示室	722人	本館の展示を見学してクイズに答えながら、横須賀の自然や歴史について学習する企画を実施した。参加者には、 <u>解答とともに博物館オリジナル絵はがきをプレゼントした。</u>
「潮だまりの生き物」	萩原	7月23日	天神島臨海自然教育園	27人	干潮時にあられる海水の水たまり「潮だまり」でくらすイソギンチャクや貝、エビ・カニ、ウニ、魚などの生き物を観察した。 協力：相模湾海洋生物研究会
「子ども地球教室」	柴田	7月29日	科学教室	14人	化石、岩石、鉱物の観察、地層のでき方の実験、液状化実験、地震のしくみの解説などを行った。協力：三浦半島活断層調査会
「博物館たんけん（しぜん）」	自然	8月3日	自然館	26人	普段は見られない、化石や魚、昆虫、植物などの標本を保管する資料室やジオラマの裏側などを見学した。
「秘密の部屋探検（れきし）」	瀬川	8月3日	人文館	17人	普段は入ることができない資料室などを見学しながら、博物館資料の保存やクリーニングについて学習した。
「夜の昆虫かんさつ」	内船	①8月4日 ②8月5日	天神島臨海自然教育園	32人 24人 延べ56人	自然教育園の自然環境と博物館の調査活動を体験する機会として、夜間昆虫調査をテーマに観察会を実施した。明かりに集まる昆虫や夜の砂浜を徘徊する昆虫等を観察したほか、②ではハマオモトの訪花昆虫調査についても解説を行った。
「古代ネックレスをつくろう」	稲村	①8月5日 ②8月6日 ③8月12日 ④8月13日	講堂	30人 30人 26人 24人 延べ110人	滑石を材料に、勾玉など好きな形に削ってから磨き、ビーズとともに革紐に通して古代ネックレスを完成させた。
「箱めがねで磯の生き物を観察しよう」	萩原	8月6日	天神島臨海自然教育園	22人	簡易な水中観察の道具である「箱めがね」を使って、海中の貝やエビ・カニ、ウニ、魚などの生き物を観察した。 協力：相模湾海洋生物研究会
「身近な植物の標本づくり」	山本	8月11日 ①午前 ②午後	科学教室	29人 39人 延べ68人	参加者が事前に用意した身近な植物を用いて博物館に收藏しているような学術的な標本づくりを実施した。
「自分でつくる！化石レプリカ」	柴田	8月19日 ①午前 ②午後	科学教室・講堂	62人 47人 延べ109人	アンモナイトとトリゴニアの化石レプリカを石こうで作成した。



「潮だまりの生き物」



「子ども地球教室」



「夜の昆虫かんさつ」



「古代ネックレスをつくろう」



「身近な植物の標本づくり」



「自分でつくる！化石レプリカ」

10) 講演会

行事名	担当者	開催日	開催場所	参加者数	内容
「よこすか歴史物語1 ー祝 日本遺産ー」	菊地	7月8日	講座室	60人	毎回異なるテーマに沿って、人文部門の学芸員たちが最新の研究成果を含めた横須賀の歴史について講演した。 1回目：横須賀市内で指定された日本遺産について（講師：菊地・安池） 2回目：横須賀の職人道具や浦賀奉行の装束について（講師：瀬川・安池、安室） 3回目：古代の遺跡から出土した祭祀遺物や、現代のまつりの様子などからみえる横須賀の歴史や文化について（講師：瀬川・稲村）
「よこすか歴史物語2 ー道具からみえる横須賀ー」	瀬川	11月19日	講座室	21人	
「よこすか歴史物語3 ーまつりー」	稲村	30年3月17日	講座室	26人	
海と地球の研究所セミナー -身近な海に広がる世界- 相模湾って深海？	自然	30年3月21日	講座室	109人	内容の詳細は本誌20ページ



「よこすか歴史物語2ー道具からみえる横須賀ー」



「よこすか歴史物語3ーまつりー」

11) 研究発表会

第3回よこすかの歴史最前線

11月3日，講座室。

日頃，三浦半島の歴史について調査研究をされている市民の方々と博物館の学芸員が，最新の成果について発表をおこなった。個別発表と小特集を講座室において人文部門で行った。発表は事前申し込み制。

参加者 52人。担当：安池

・元治元年内海四番御台場土丹石切り出しの経緯
—相模国三浦郡北部の事例—

安池尋幸

・海軍航空機の造修と海軍航空技術廠

永久淳雄

・—明治後期から，大正～昭和にかけて活躍した—
偉大なる土木技師・吉田直(のぶる)を初めて顕彰する

長浜つぐお

実施した（担当：山本）。

本事業は日産財団理科教育助成による支援を受けた。

参加者 1,586人。担当：内船



よこすかの歴史最前線



講演会と巡回展



発表会①

みんなの理科フェスティバル

発表：12月17日

展示：12月14日～12月19日，本館・文化会館。

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる6日間」をテーマに，小中学生の自由研究や理科研工作，高校生や大学生・大学院生・市民・研究機関や大学などの教員・研究員・学芸員による研究発表・講演会・ワークショップなどを文化会館3階第1市民ギャラリーに集約し，約40の個人・団体が出展を行った。12月17日には出展者による発表会を行なった

担当：内船

関連イベントとして，本館では12月9日～24日に国立科学博物館巡回展「日本の生物多様性とその保全」を開催するとともに，国立科学博物館の海老原 淳研究員によるスペシャルトーク「教えて★生物多様性」を



発表会②

12)文化財収蔵庫公開

開催日	参加者数
5月3日	49人
5月4日	21人
5月5日	56人
5月6日	18人
5月7日	10人
	延 154人
11月3日	13人
11月4日	65人
11月5日	66人
	延 144人

気候が安定している5月と11月の計8日間、国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」を収蔵している文化財収蔵庫を公開した。

国指定になっていない漁撈用具のうち数点を選び、「さわれる展示」を実施した。

担当：瀬川

14)スチームハンマー蒸気の実演と解説

国指定重要文化財スチームハンマーのシステムの理解を助けるため、1/10模型を蒸気で稼働させて解説した。

担当：菊地

15)ビデオ上映

毎週土曜日、ヴェルニー記念館

4月「ニッポン近代化遺産への旅」

5月「明治建築をつくった人びと」

6月「京都を救った人工の川ー琵琶湖疏水」

7月・8月(夏休み特集)

1. 「水とたたかった戦国の武将たち」

2. 「おやとい外国人とよばれた人たち」

9月「日本の鉄道とトンネルー笹子と関門から」

10月「それは歓喜坑から始まったー別子銅山」

11月「鉄は国家なりー「産業の母」としての100年史」

12月「黒ダイヤとよばれてー三井三池と筑豊の盛衰」

30年1月「製糸家の湯ー片倉館と富岡製糸場」

30年2月「日本の近代土木を築いた人々」

30年3月「福沢桃介ー木曾川水系電源開発」

担当：菊地

13)ナイトミュージアム

10月28日、本館。

近隣の上町商店街連合会の協力のもと、同日に商店街で開催された「うわまちハロウィンフェスティバル」で申込みを行った方を対象に実施した。館内の一部に専用の動線を設け、申込者を3グループに分け、それぞれ学芸員による解説を実施した。

参加者96人、担当：内船



準備作業



夜の自然館2階展示室

16)出版

「自然教育園だより」 秋号：9月5日発行 春号：30年3月20日発行 最終号：30年3月28日発行 各4ページ、無料。

馬堀自然教育園と天神島臨海自然教育園の自然や活動を紹介するものとして、職員・学芸員による自然記録やトピックス、行事の報告と予定を掲載した。なお、本年度を以て「自然教育園だより」としての発行を最後とした。

編集：山本（秋）・内船（春）・柴田（最終）

担当：内船

「横須賀市 博物館研究報告（人文科学）62号」

12月1日発行 90ページ 250円

稲村 繁：神奈川県 埴輪(Ⅱ)ー外来系埴輪の分布と交通路(前)ー

安池尋幸：元治元年内海四番御台場土丹石切り出しの経緯ー相模国三浦郡北部の事例ー

安池尋幸：幕末維新期横須賀製鉄所の附属施設について(1) (2)

瀬川 渉：語りのなかの横須賀ー森光司氏の語り 5ー

担当：安池

「横須賀市 博物館研究報告(自然科学)65号」

30年3月20日発行 26ページ 350円

内船俊樹・横須賀市保健所生活衛生課：2017年横須賀市におけるスズメバチ類のベイトトラップ調査

水上真知子・青木清勝・田中和徳・中村洋一・平野素・山室静子・山本薫：逗子市池子の森自然公園の植物相調査

柴田健一郎・浅見茂雄：断層破碎帯で発生した斜面変動：横須賀市野比海岸における北武断層での事例報告
金田正人・神山奈由子・鈴木茂也・天白牧夫・永嶋省吾・宮脇佳郎・村石健一：横須賀市で確認されたモリアオガエル *Rhacophorus arboreus*(Okada et Kawano, 1924)

萩原清司・齋藤和久・木村喜芳・横須賀市自然環境共生課：横須賀市から初記録の淡水魚4種

新津修平：横須賀市から発見された神奈川県初記録のヒロズミノガ(鱗翅類, ミノガ科)

編集委員：萩原・柴田・内船・山本

担当：萩原

「横須賀市博物館資料集42号」

11月1日発行 51ページ 200円

瀬川 渉：諸職(職人)道具2

担当：瀬川

ii. 共催・協力事業

「うわまち浪漫 桜まつり」

4月2日, 中央公園・本館.

共催として参加. 中央公園会場に「おでかけ博物館」を出展したほか, 本館を案内するツアーを実施した.

主催：上町商店街連合会

指導：萩原・菊地・柴田・内船・山本・瀬川・安池・稲村

担当：内船



「うわまち浪漫 桜まつり」

「アースデー(環境フェア)」

4月21日, 米海軍横須賀基地内 NEX 赤レンガ広場.

三浦半島産の動植物, 岩石・化石資料, 米国産化石資料を米海軍横須賀基地内の特設テントに展示し, 基地内の住民等に三浦半島の自然について紹介した.

主催：米海軍横須賀基地環境課

担当：柴田・山本

「うわまち浪漫 灯ろうまつり」

7月7日, 上町商店街.

馬堀自然教育園の伐採で出た笹を商店街の飾りつけに提供したほか, イベント会場の一角に位置する廃業した銭湯跡「当世館」においてワークショップ「おでかけ博物館」を実施した.

主催：上町商店街連合会

担当：内船・山本・瀬川



「おでかけ博物館」

「中高生サイエンスキャリアプログラム」

8月9日, 馬堀自然教育園.

自然や科学に関心をもつ県内の中高生を対象にした連続講座の1回分を担当. 園内の自然を観察し, 地質と植物について体験的に学ぶ機会とした.

主催：神奈川県青少年センター

参加者5人, 指導：柴田・山本・内船

担当：内船・山本

「うわまちハロウィンフェスティバル」

10月28日, 本館.

共催として参加し, 同日主催事業として開催した「ナイトミュージアム」(18ページ参照)を通じたイベント広報活動を行った.

主催：上町商店街連合会

担当：内船

「自然環境講演会『ゾウの時間・ネズミの時間・私たちの時間』」

30年3月10日，文化会館。

生物学者の本川達雄氏を講師に，共催として博物館講座室を使用する予定であったが，申込多数のため会場を変更して開催した。講演終了後に博物館の関連展示を見学していただくスタンプラリーを開催した。

主催：横須賀市環境政策部自然環境共生課
担当：内船



「ゾウの時間・ネズミの時間・私たちの時間」

「JAMSTEC 深海ミニ展示」

30年3月17日～25日，本館。

JAMSTEC 所蔵の深海生物に関するパネル，映像，シロウリガイや深海性カニ類などの標本，「しんかい6500」の模型などを1階ホールの特設会場で展示した。

共催：海洋研究開発機構（JAMSTEC）
参加自由，担当：萩原



JAMSTEC 深海ミニ展示

「第16回 海と地球の研究所セミナー -身近な海に広がる世界-相模湾って深海？」

30年3月21日，本館。

相模湾と深海をテーマとして，「相模湾の海洋生物研究史」（講師：萩原），「相模湾から広がる深海の世界」（講師：JAMSTEC 満澤研究推進部次長），「相模湾から始まったシロウリガイ研究」（講師：JAMSTEC 吉田主任技術研究員）の3題の講演を行った。

共催：海洋研究開発機構（JAMSTEC）
参加者109人，担当者：萩原・柴田・内船・山本



海と地球の研究所セミナー

「うわまち浪漫 春まつり スタンプラリー」

30年3月26日～3月31日（4月7日まで継続），本館・文化会館・中央図書館。

共催として参加した平成30年4月2日開催の「春まつり」に関連したイベントとして，本館をはじめ3館を周遊するスタンプラリーを実施した。

主催：上町商店街連合会
担当：内船

iii. 学校教育等指導・協力

1) 研究指導

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）プリンキピア I，プリンキピア II 研究指導，年間，県立横須賀高等学校ほか。県立横須賀高等学校1学年20人・2学年10人

担当：萩原・柴田・内船・山本

○野外研究（歴史）指導，7月7日，本館。田浦中学校1年

担当：安池

○研究指導，7月26日，立教大学大学院観光学研究科

2年

○「外来生物について」指導, 7月30日, 本館. 横須賀市理科教員

担当: 菊地

担当: 萩原

2) 授業

○総合的な学習「三浦半島の自然」, 5月10日, 久里浜中学校. 横須賀市立久里浜中学校1年

担当: 萩原

○「昆虫について」, 6月16日, 城北小学校. 横須賀市立城北小学校5年

担当: 内船

○総合的な学習「鷹取山」, 6月20日, 鷹取小学校. 横須賀市立鷹取小学校3年

担当: 柴田

○総合的な学習「斉田浜の生き物」, 7月7日, 斉田浜. 横須賀市立荻野小学校6年

担当: 萩原

○総合的な学習「動物に関する質問」, 7月7日, 本館. 湘南学園中学校2年

担当: 萩原

○総合的な学習「外来生物に関する質問」, 7月7日, 本館. 横須賀市立田浦中学校2年

担当: 萩原・山本

○総合的な学習「かろうと山古墳」, 7月13日, 本館. 横須賀市立栗田小学校6年

担当: 稲村

○総合的な学習, 9月23日, 馬堀自然教育園. 横須賀市立浦賀小学校5年

担当: 山本・内船

○総合的な学習, 9月29日, 馬堀自然教育園. 横須賀市立浦賀小学校3年

担当: 山本・内船

○総合的な学習, 9月29日・11月24日, 高坂小学校. 横須賀市立高坂小学校3年

担当: 山本

○「地層の見学」11月9日, 観音崎公園. 横須賀市立大津小学校6年

担当: 柴田

○総合的な学習「平作川の生き物」12月8日, 公郷小学校. 横須賀市立公郷小学校6年

担当: 萩原

○「土地のつくりと変化: 野比の地層」12月8日, 野比小学校. 横須賀市立野比小学校6年

担当: 柴田

○総合的な学習「馬堀の歴史」30年1月25日, 本館. 横須賀市立馬堀小学校6年

担当: 柴田・稲村

○総合的な学習「平作地域の自然」30年2月7日, 城北小学校. 横須賀市立城北小学校6年

担当: 萩原

○小学校6学年社会科

「大昔の暮らし」の単元の授業を館内でおこない, 教材として必要な博物館収蔵資料などを提供した. 提供資料の詳細は本誌27ページ.

横須賀市立沢山小学校 5月19日

担当: 稲村

○小学校3学年社会科

「昔の道具と暮らし」の授業の一環として来館した児童に対して, 古民家や昔の道具について説明し質問に答えた. 特別展示開催中は, 古民家と特別展示室で授業支援を行った. (36校来館).

三浦市立岬陽小学校 9月14日

横須賀市立船越小学校 30年1月16日

横須賀市立汐入小学校 30年1月18日

横須賀市立明浜小学校 30年1月19日

横須賀市立神明小学校 30年1月25日

横須賀市立大塚台小学校 30年1月26日

横須賀市立栗田小学校・横須賀市立走水小学校 30年1月30日

横須賀市立根岸小学校 30年1月31日

横須賀市立鷹取小学校 30年2月1日

横須賀市立高坂小学校 30年2月2日

横須賀市立沢山小学校・横須賀市立豊島小学校 30年2月6日

横須賀市立岩戸小学校 30年2月7日

横須賀市立望洋小学校 30年2月8日

横須賀市立浦郷小学校・横須賀市立桜小学校 30年2月9日

横須賀市立夏島小学校 30年2月14日

横須賀市立山崎小学校・横須賀市立田戸小学校 30年2月15日

横須賀市立馬堀小学校 30年2月16日

横須賀市立久里浜小学校・横須賀学院小学校 30年2月20日

横須賀市立田浦小学校 30年2月21日

横須賀市立衣笠小学校・横須賀市立浦賀小学校 30年2月22日

横須賀市立鴨居小学校 30年2月23日

横須賀市立大津小学校・三浦市立上宮田小学校 30年2月27日

横須賀市立野比東小学校 30年2月28日

横須賀市立武山小学校 30年3月1日

横須賀市立公郷小学校 30年3月2日

横須賀市立小原台小学校・横須賀市立大楠小学校 30年3月6日

横須賀市立大矢部小学校 30年3月7日

横須賀市鶴久保小学校 30年3月8日

担当：瀬川



「昔の道具とくらし」

3) 見学対応

- 横須賀市立森崎小学校 4年, 4月26日, 本館
担当：内船・山本
- 神奈川大学, 5月27日, 本館
担当：柴田
- 田園調布雙葉学園小学校 6年, 6月1日, 本館
担当：柴田
- 横須賀市立公郷中学校 2年, 6月6日, 馬堀自然教育園
担当：内船・山本
- 神奈川大学, 6月24日, 天神島臨海自然教育園
担当：柴田
- 武蔵高校, 8月15日, 本館
担当：柴田
- 逸見保育園, 9月15日, 本館
担当：山本
- 日本大学生物資源科学博物館, 10月13日, 本館
担当：内船
- 「博物館見学実習」解説, 11月5日, 日本大学生物資源科学部, 天神島臨海自然教育園, 本館
担当：萩原
- 帝京平成大学, 12月9日, 本館
担当：柴田・山本
- 横須賀市立明浜小学校, 30年1月19日, 本館
担当：稲村
- 横須賀市立公郷小学校, 30年3月2日, 本館
担当：稲村

4) 実習生受入れ

- 博物館実習 8月16日～26日 本館・馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・ヴェルニー記念館
桜美林大学 リベラルアーツ学群 歴史学専攻
同 大学 同 学群 文化人類学専攻
関東学院大学 人間環境学部 人間環境デザイン学科
成城大学 文芸学部 文化史学科
千葉科学大学 危機管理学部 動物危機管理学科
東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科
東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科
二松學舎大学 文学部 国文学科
八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科

桜美林大学 2人・他大学各1人 計9人

指導：萩原・菊地・柴田・内船・山本・瀬川・安池・稲村

担当：内船

5) 教職員研修

- 「カイコの飼い方」講師, 5月12日, 教育研究所
担当：内船
- 理科基礎技術研修講座「校庭の植物観察」講師, 6月9日, 武山小学校
担当：山本
- 横須賀市立学校教員理科研修「相模湾の磯の生物観察」講師, 8月8日, 天神島臨海自然教育園
荒天のため中止
担当：萩原
- 「教員研修」受入, 1人, 8月16日・24日, 本館・馬堀自然教育園
担当：内船
- 理科基礎技術研修講座「自然観察会～観音崎で見られる地層～」講師, 10月25日, 県立観音崎公園
雨天中止
担当：柴田
- 「博物館活動及びチャックキラコについて」講師, 11月17日, 神奈川県教育委員会, 本館
担当：内船・瀬川

6) 職場体験指導

- 横須賀市立鷹取中学校 2年1人, 6月28日～30日, 本館
指導：萩原・柴田・内船・山本

7) 大学講師

- 「博物館資料保存論」非常勤講師, 4月～7月, 神奈川大学 柴田

○「博物館実習 I」ゲストスピーカー, 5月~6月, 信州大学 内船

○「博物館教育論」非常勤講師, 9月~30年1月, 神奈川大学 内船

iv. 委員・団体協力等

1) 委員等

○近代歴史遺産活用事業推進協議会委員, 年間, 横須賀市文化振興課

担当: 永嶋・菊地

○横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討会専門委員, 年間, 横浜市教育委員会

担当: 萩原

○環境教育・環境学習ネットワーク会議委員, 年間, 横須賀市環境政策部

担当: 内船

○横須賀市市内ホテル連絡会議委員, 年間, 横須賀市環境政策部

担当: 内船

○神奈川県博物館協会筆頭部会長・会報編集委員, 年間, 神奈川県博物館協会

担当: 内船

○神奈川県小網代の森保全利活用対策協議会委員, 年間

担当: 山本

○国指定史跡長柄桜山古墳群史跡整備検討会委員, 年間, 逗子市・葉山町教育委員会

担当: 稲村

2) 指導・講師・見学対応・協力

○横須賀市自然環境調査(植物) 協力, 年間, 横須賀市自然環境共生課

担当: 山本

○横須賀市樹林地管理モデル事業調査(光の丘水辺公園, 衣笠山公園) 協力, 年間, 横須賀市自然環境共生課

担当: 内船, 山本

○三浦半島昆虫研究会 協力, 年間, 本館

担当: 内船

○上町イベント実行委員会 協力, 年間, 上町商店街・本館

担当: 内船・山本・瀬川

○好古会 協力, 年間, 本館

担当: 稲村

○「自然観察会 春の花に会いに行こう!」講師, 4月2日, 塚山公園, 逸見地域運営協議会

担当: 山本

○「神奈川の遺跡について」講師, 4月14日・6月9日・7月14日・8月4日・30年1月12日・2月9日, 本館第1学習室, 好古会

担当: 稲村

○「海洋生物実習」講師, 4月23日, 天神島臨海自然教育園, 東京農業大学バイオセラピー学科

担当: 萩原

○「三浦半島の地球科学」展示解説, 5月19日, 本館講堂・展示室, 横須賀シティガイド協会

担当: 柴田

○狭山市歴史クラブ常設展示解説, 5月23日, 本館

担当: 菊地

○湘南水交会企画展示解説, 5月30日, 本館

担当: 菊地

○「馬堀自然教育園の地質」解説, 5月30日, 馬堀自然教育園, 横須賀シティガイド協会

担当: 柴田

○大矢部弾庫跡地自然環境調査協力, 6月1日, 大矢部, 自然環境共生課

担当: 萩原・内船・山本

○東京都江東区地域振興部文化観光課見学対応 6月25日, 本館

担当: 稲村

○フランス国立理工科学校(エコール・ポリテクニク)2年インターンシップ生受入対応, 7月・8月, 本館

担当: 菊地

○「調べて伝える横須賀の自然(昆虫・植物)ーデジタルカメラで調べる身近な虫と花ー」講師, 7月~10月(8回), まなびかん・神奈川県立観音崎公園・光の丘水辺公園, 横須賀市生涯学習財団

担当: 内船・山本

○横須賀市西行政センター新採職員研修対応, 7月6日, 本館

担当: 永嶋・菊地・瀬川

○「秋谷海岸の自然」講師, 7月17日, 湘南国際村, 自然ふれあい学校

担当: 萩原

○ヴェルニー直系子孫来館対応, 7月12日, 本館

担当: 菊地

○「環境学習講座」講師, 7月22日, 天神島臨海自然教育園, (財)国際生態学センター

担当: 山本

○横須賀市役所2年目研修生受入対応, 7月27日, 本館

担当: 永嶋・越水・菊地・瀬川

- 「前田川リバーウォッチング」講師，7月29日，横須賀市土木部河川課
担当：萩原
- 「わくわくムシたんけん」講師，8月2日，児童図書館，横須賀市児童図書館
担当：内船
- 「夏休み！昆虫さがし探検隊」講師，8月5日，ソレイユの丘，長井海の手公園パートナーズ
担当：内船
- よこすかシティガイド協会「ヴェルニー記念館解説員研修」講師，8月5日，本館・ヴェルニー記念館
担当：菊地
- 写真展と講演の集い「三浦半島の地球科学から自然災害を考える」講師，9月2日，逗子市市民交流センター，三浦半島活断層調査会
担当：柴田
- 三溪園市民研究会常設展示解説，9月15日，本館
担当：菊地
- 「横須賀市創意くふう展」対応，9月16・17日，本館，横須賀市教育委員会
担当：内船
- 全国理科教員OB会「館内見学」解説，10月1日，本館
担当：萩原
- 鎌倉市教育委員会視察対応，10月4日，本館
担当：安池
- 「景観まちあるき」指導，10月13日，汐入，横須賀市都市部市街地整備景観課
担当：内船
- 植物調査指導，10月17日，万代会館，横須賀市教育委員会生涯学習課
担当：山本
- 市原市市会議員OB会展示解説，11月9日，本館
担当：菊地・安池
- 鷹取山自然観察会講師，11月10日，鷹取山，鷹取山自然観察会
担当：山本
- 「環境学習講座」講師，11月12日，天神島臨海自然教育園，(財)国際生態学センター
担当：山本
- 「平作川水質調査」指導，11月17日，平作川，横須賀市域水質保全協議会
担当：萩原
- 「四教育事務所社会教育主事研究協議会」講師，11月17日，本館
担当：内船・瀬川
- 「埴輪が語る長柄桜山古墳群の被葬者」講師，12月3日，逗子市役所
担当：稲村
- サイエンスレクチャー「足跡化石が教えてくれる恐竜のなぞー足跡の化石から見る大昔の動物のくらし（恐竜，鳥，哺乳類の足跡化石の研究）ー」講師，12月16日，理科ハウス
担当：柴田
- 米国国務省日本語研修所見学対応，12月19日，本館
担当：菊地・安池
- 呉市職員視察対応，12月20日，本館
担当：安池
- 「退職公務員連盟横須賀支部講演会」講師，30年1月18日，本館
担当：瀬川
- 「相模民俗学会1月例会」講師，30年1月21日，本館
担当：瀬川
- 「三浦半島の地球科学から地震災害を考える」講師，30年1月23日，神明小学校，神明小中避難児童生徒対策委員会
担当：柴田
- 「植物さんぽと押し花標本づくり」講師，30年2月2・9日，三春町コミュニティセンター，横須賀市地域コミュニティ支援課
担当：山本
- 「スズメバチトラップで分かった横須賀の昆虫たち」講演，30年2月11日，本館，三浦半島昆虫研究会
担当：内船
- 「川や海での水中撮影」講師，30年2月14日，16ミリ試写室，中央図書館
担当：萩原
- 「食のセミナー」講師，3月7日，横須賀市保健所，横須賀市保健所生活衛生課
担当：萩原
- 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会研修会（科学講演会）「足跡化石から見る過去の動物の生態～恐竜・鳥類・哺乳類の足跡化石から～」講師，30年3月9日，神奈川県立青少年センター，神奈川県青少年科学体験活動推進協議会
担当：柴田

3) 報道関係等取材協力

日付	担当者	メディア名・取材者等		内容
2017/4/7	萩原	NHK 総合	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ダーウィンがきた!」で取り上げる予定のカワハギについて、生態・形態的な特徴についてヒアリングに来館。天神島ビジターセンターを利用しての撮影に協力。
2017/4/10	萩原	NHK 総合	NHK エンタープライズ	「さわやか自然百景」で取り上げる予定の徳之島に生息するウンブキアナゴの系統類縁関係についてメールで問い合わせ。
2017/4/14	萩原	TBS テレビ	TBS テレビ	「どうぶつ奇想天外」で取り上げる予定のクサフグの産卵について、産卵時期や産卵方法などについて電話で問い合わせ
2017/4/18	内船	NHK Eテレ	NHK エデュケーショナル	「なりきり!」で取り上げる予定のオオハサミムシについて、観察方法のポイントなどを電話で問い合わせ。現地指導もおこなう。
2017/5/6	柴田	J-COM	J-COM	ミュージアムトークと展示物の撮影。
2017/5/18	菊地	TV 東京	(株)リベラス	博物館資料で未公開状態のもの非公開のものを尋ねて紹介する番組企画に関する相談。
2017/5/28	萩原	雑誌「湘南スタイル」	湘南スタイル編集部	海の近くのスポットとして天神島臨海自然教育園(ビジターセンター)の紹介と海岸で過ごしていた来園者へのインタビューを記事にする。来園者のインタビューについては直接来園者に掲載許可を得てもらうことを前提として取材を受けた。
2017/6/4	菊地	『プラタモリ』第8巻	(株)ランズ	「横須賀」『プラタモリ』第8巻刊行にともなう、内容確認相談。
2017/6/27	山本	NHK 総合	(株)千代田ラフト	「ダーウィンがきた!」で放映予定のエナガの巣づくりの際に映る樹木とコケの同定依頼。
2017/7/17	萩原	TBS テレビ	TBS テレビ 報道局「Nスタ」	海水浴シーズンで注意すべき危険な生き物の紹介で、当館撮影のアンドンクラゲ映像を使用したいとの依頼。
2017/7/21	柴田	神奈川新聞	神奈川新聞 横須賀支社	企画展示「実物のない展示会～自然科学と二次資料～」の取材。来館者の見学風景を撮影。
2017/7/26	内船	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ニッポンの里山」で放送予定の岡山県美作市の水田で撮影されたチョウ・クモの同定依頼。
2017/7/27	萩原	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ニッポンの里山」で放送予定の岡山県美作市の水田で撮影されたカエル類の同定依頼。
2017/7/31	内船	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「さわやかしぜん百景」放送の青梅のミドリシジミの再同定依頼。
2017/8/2	萩原	NHK BS プレミアム	(株)ウィंक	「さわやか自然百景」で放送予定の沖縄県で撮影されたウミヘビ類、カニ類、オカヤドカリ類の種の同定依頼。
2017/8/23	内船	神奈川新聞	神奈川新聞 横須賀支社	三浦半島におけるシロスジコガネの希少性についての問合せ。
2017/8/24	内船	NHK BS プレミアム	テムジン	「さわやか自然百景」で放送予定の帝釈峡のカタモンミナミボタル・ニシキキンカメムシ・ヒメボタルの同定依頼。
2017/8/29	萩原	NHK 総合	NHK 大分放送局	「さわやか自然百景」で紹介予定の大分沿岸の魚類(スズメダイ)の同定依頼。
2017/8/29	萩原	読売新聞	読売新聞 横須賀支局	9月24日開催予定の天神島ガイドツアーの内容についての問い合わせ。
2017/9/23	内船	NHK BS プレミアム	アズマックス	「ニッポンの里山」で放送予定の宮城県で撮影された昆虫3種(ヒメスズメバチ、ナガサキアゲハ、ハラビロカマキリ)について同定依頼。
2017/9/26	内船	NHK BS プレミアム	NHK 制作本部	「ニッポンの里山」で放送予定の岩手県遠野の昆虫について同定依頼。
2017/9/26	内船	NHK BS プレミアム	NHK 制作本部	「ニッポンの里山」で放送予定の横浜市金沢区の昆虫6種について同定依頼。
2017/9/29	萩原	NHK BS プレミアム	NHK 制作本部	「ニッポンの里山」で放送予定の横浜市金沢区の魚類・甲殻類について同定依頼。
2017/9/29	萩原	NHK BS プレミアム	(株)ベック	「ニッポンの里山」で放送予定の徳島県鳴門市の魚類について同定依頼。

日付	担当者	メディア名・取材者等		内容
2017/10/3	内船	NHK BS プレミアム	NHK 制作本部	「ニッポンの里山」で放送予定の岩手県遠野のトンボについて追加同定依頼.
2017/10/3	内船	NHK BS プレミアム	NHK 制作本部	「ニッポンの里山」で放送予定の横浜市金沢区のトンボについて追加同定依頼.
2017/10/6	内船	タウンニュース	タウンニュース	「ナイトミュージアム」についての問合せと写真提供依頼.
2017/10/12	萩原	NHK BS プレミアム	(株)ベック	「ニッポンの里山」で放送予定の高知県黒潮町で撮影されたイワシ類(ウルメイワシ)について同定依頼.
2017/10/12	菊地	NHK	NHK 制作本部	ファミリーヒストリーの歴史研究相談.
2017/10/25	安池	フジテレビ	フジテレビ	ベリイ関係相談.
2017/10/26	安池	読売新聞	読売新聞社	米友協会誌相談.
2017/10/26	内船	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ニッポンの里山」で放送予定の岡山県美作市の水田で撮影されたバッタ・カマキリの同定依頼.
2017/11/1	山本	神奈川新聞	神奈川新聞 横須賀支社	観察会「身近な植物でつくるクリスマスリース」についての取材.
2017/11/7	萩原	NHK BS プレミアム	(株)ウインク	「ワイルドライフ」で放送予定のオーストラリア・フレーザー島沖で撮影されたマグロの一種(コシナガ)の写真による同定依頼.
2017/11/7	内船	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ニッポンの里山」で放送予定の宮崎県都城の昆虫について同定依頼.
2017/11/15	菊地	サイト【行ってみよう! たのしい街】	(株)パーク24	全館取材.
2017/11/19	萩原	NHK 総合	(株)千代田ラフト	「さわやか自然百景」で12月3日放送予定の白神山地の両生類について同定依頼.
2017/11/20	内船	NHK BS プレミアム	ビジュアルフォークロア	「にっぽん百名山 乾徳山」の蝶について同定依頼.
2017/11/27	菊地	にっぽん! 歴史鑑定	(株)ネクサス	ビッドル来航に関する図録の問合せ.
2017/11/29	菊地	NHK Eテレ	テレコムスタッフ	インタビュー取材出演. ヴェルニー館 スチームハンマー, 横須賀製鉄所資料撮影取材.
2017/11/29	萩原	NHK BS プレミアム	アズマックス	「ニッポンの里山」で放送予定の有明海の魚類・貝類・甲殻類について同定依頼.
2017/11/29	内船	NHK BS プレミアム	テレコムスタッフ	「ニッポンの里山」で放送予定の兵庫県たつの市で撮影されたトンボ類ほかの同定依頼.
2017/12/12	菊地	偉大な建造物	(株)アルパ	掲載内容の相談.
2017/12/13	内船	タウンニュース	タウンニュース 横須賀支社	みんなの理科フェスティバルについて取材.
2017/12/13	瀬川	タウンニュース	タウンニュース 横須賀支社	特別展示について取材.
2017/12/14	菊地	テレビ朝日	テレビ朝日	軍艦清輝の画像利用相談.
2017/12/15	萩原	NHK BS プレミアム	(株)元	「にっぽんの里山」で放送予定の北海道襟裳岬周辺の海洋生物(魚類・甲殻類)の同定依頼.
2017/12/16	瀬川	YOKOSUKA ほっとナビ	ジェイコム	特別展示について取材.
2017/12/17	安池	神奈川新聞	神奈川新聞 横須賀支社	特別展示について取材.
2017/12/21	山本	神奈川新聞	神奈川新聞 横須賀支社	巡回展について取材.
2018/1/6	瀬川	朝日新聞	朝日新聞社 横須賀支局	特別展示について取材.
2018/1/10	内船	NHK BS プレミアム		「にっぽんの里山」で取り上げるバッタなど5種の昆虫類の同定および解説チェックをメールにて依頼.

日付	担当者	メディア名・取材者等		内容
2018/1/10	萩原	NHK BS プレミアム		「にっぽんの里山」で放送予定のつくば市で撮影されたカエルの同定依頼.
2018/1/16	萩原	NHK BS プレミアム	NHK エンタープライズ 自然科学番組製作	「ワイルドライフ」で放送予定のシンガポールで撮影したカワウソが捕食している魚類の同定依頼.
2018/2/6	内船	NHK	(株) マイズ	「新日本風土記」内の映像におけるミツバチの確認.
2018/2/8	萩原	NHK 総合	(株) 元	「さわやか自然百景」で放送予定の北海道阿寒湖の水生生物(魚類・甲殻類)の同定.
2018/2/13	瀬川	河北新聞	河北新聞 東京支社	井上成美ゆかりのオルガンについて取材.
2018/3/1	萩原	日本テレビ	(株) 日企	「ザ・鉄腕ダッシュ」のロケで採集される深海生物の標本受け入れの可否について電話で相談. また, ロケハンで採集された深海魚(ホテイエソ)について質問.
2018/3/7	萩原	NHK	テレコムスタッフ	「さわやか自然百景」で放送予定のあきる野市で撮影されたカエルの同定依頼.
2018/3/10	萩原	日本テレビ	(株) 日企	「ザ・鉄腕ダッシュ」のロケで採集されたホテイエソ標本受け入れと標本作成などを館内で撮影.
2018/3/20	山本	神奈川新聞	神奈川新聞	トピックス展「桜・さくら・サクラ」について取材.
2018/3/22	山本	神奈川新聞	神奈川新聞	トピックス展「桜・さくら・サクラ」について取材.

v. 博物館資料の利用 (敬称略)

1) 地球科学資料

○化石資料 掲載, 6月14日～, 日本古生物標本横断データベース

画像 貸出, 30年3月14日

テレビ朝日映像

古生物標本ネットワーク構築研究グループ

○ニホンムカシジカ角化石 閲覧

森北那由多・白井亮久 (武蔵高校)

○横須賀市池上産岩石 閲覧・貸出, 11月4日

鈴木庸平 (東京大学)

○地質調査報告書 貸出, 12月27日

柴崎大輔 (岩戸中学校)

○アンモナイト資料 3D スキャニング, 30年2月22日

辻野泰之 (徳島県立博物館)

2) 動物資料

○鳥類剥製資料 閲覧, 年間

横須賀木鳥会

○動物骨格標本 (ウシ, ウマ, ウサギ, 魚類) 貸出, 10月11日～24日

横須賀市立坂本中学校

○ハタ科, テンジクダイ科, ヘビギンポ科魚類標本 閲覧, 8月26日,

吉田朋弘・田代郷国 (鹿児島大学大学院)

○ウバウオ科魚類標本 閲覧, 12月19日

藤原恭司 (鹿児島大学大学院)

○ウミエラの一種の標本写真・ホソウミエラ水中写真

3) 植物資料

○イヌハギ1点 貸出, 5月26日～6月26日

佐々木あや子 (神奈川県植物誌調査会)

○マキバチカラシバ1点 貸出, 5月1日～7月9日

佐藤恭子 (神奈川県植物誌調査会)

4) 考古資料

○田戸・三戸遺跡出土土器 実見, 4月11・25, 5月9・23, 6月13・27, 7月11・25, 8月1・22, 9月5・26, 10月3・24, 11月14・28, 12月5・19, 30年1月16日

武井則道

○蓼原古墳出土円筒埴輪画像 再掲載, 4月27日

株式会社ベネッセコーポレーション

○吉井貝塚出土土器・石斧, 平坂東貝塚出土釣針, 江戸坂貝塚出土石鏃, 旧国立病院裏山遺跡出土土器, 泉遺跡出土土器, 米の台遺跡出土石斧, 鴨居上の台遺跡出土炭化米, 中馬堀遺跡出土土器, 神明谷戸遺跡出土土器, 大塚古墳群出土遺物, 勝力崎洞穴遺跡出土人骨館内利用, 5月19日

横須賀市立沢山小学校 6年

○天神遺跡出土赤玉 実見, 6月9日

杉山秀宏（群馬県埋蔵文化財調査事業団）

J-COM

○かろうと山古墳出土遺物 館内利用，7月13日
横須賀市立栗田小学校 6年

○ペリー久里浜上陸図画像 放映，5月16日
日本テレビ

○佐原泉遺跡出土土器片 貸出，9月13日
朝霞市博物館

○ペリー肖像画・浦賀ドック写真画像 放映，5月17日
毎日放送

○打木原遺跡出土石器一括 実見，9月17，10月7・15・21，11月4・12・18・24・26・30日

○ヴェルニー肖像画像 掲載，5月18日
(株) YAMAGATA INTECH

矢島大暉（国士舘大学）

○平坂東貝塚出土鹿角製釣針，吉井第1貝塚出土骨角製漁撈用具 貸出，9月27日

○「横須賀海軍船廠史」所収画像 放映，8月2日
NHK

大阪府立弥生文化博物館

○鳥ヶ崎横穴墓群出土土師器高坏 実見，9月28日
川田馨秋（鶴ヶ島市教育委員会）

○横須賀製鉄所資料写真画像 掲載，8月8日
(株) CCC メディア

○かろうと山古墳出土遺物画像 貸出，10月25日
横須賀市教育委員会生涯学習課

○黒船来航・ペリー上陸関連資料画像 放映，8月22日
(株) ユニット

○蓼原古墳出土円筒埴輪画像 再掲載，11月3日
株式会社ベネッセコーポレーション

○三浦按針胸像写真画像 放映，8月23日
横須賀市経済部集客・プロモーション担当

○長浜横穴墓群出土遺物，吉井城山横穴墓群出土遺物，信楽寺横穴墓群出土遺物，鳥ヶ崎横穴墓群出土遺物，諏訪脇横穴墓群出土遺物，かろうと山古墳出土遺物 貸出，11月8日

○三浦按針胸像写真画像 放映，8月24日
J-COM

神奈川県教育委員会文化遺産課

○貉遺跡・コウロ遺跡ほか三浦半島内出土諸磯式土器 実見，11月18日

○スチームハンマー・横須賀港一覧絵図・石井コレクション図面資料画像 掲載，9月5日
神奈川県産業労働局観光部観光企画課

加藤俊樹（国士舘大学）

○蓼原古墳出土弾琴男子椅座像埴輪画像 貸出，11月25日

○石井コレクション2点 貸与，9月23日
横浜都市発展記念館

株式会社童夢

○小原第1遺跡出土土器，中馬堀遺跡出土遺物 館内利用，30年1月25日

○浦賀湊絵図画像 貸与，9月29日
浦賀行政センター

○絵巻物写真 貸与，10月26日
ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館

横須賀市立馬堀小学校 6年

○宗元寺跡出土瓦，宗元寺瓦窯址出土瓦，深田廃寺出土瓦，石井遺跡出土瓦，乗越瓦窯址出土瓦・須恵器，相模国分寺跡出土瓦，からさわ窯出土瓦 実見，30年3月10日

○横須賀港一覧繪圖画像 掲載，11月16日
J-COM

○ペリー久里浜上陸図画像 掲載，12月11日
(株) 都市出版

関東古瓦研究会

○蓼原古墳出土円筒埴輪画像 再掲載，30年3月20日

○広重画山海見立相撲相模浦賀・米国々書受領之図画像 掲載，12月13日
横須賀市政策推進部文化振興課

○明治初期横須賀製鉄所（造船所）全景写真画像 掲載，12月22日
(株) 洋泉社

株式会社ベネッセコーポレーション

5) 歴史・近代建築史資料

○湘南電気鉄道のガード・戦前の三笠通り等の商店街写真画像 放映，5月10日

○米友協会々史掲載写真 掲載，12月26日
読売新聞社東京本社メディア編集部

○ミシシッピー号写真画像 掲載，30年2月23日
朝日新聞出版

○前賢故実等 貸与，30年3月2日

横須賀美術館

○ヴェルニー記念館関連画像 掲載, 30年3月6日
神奈川県産業労働局観光部国際観光課

吉田朋弘・田代郷国 (鹿児島大学大学院)

○ウバウオ科魚類標本調査, 12月19日
藤原恭司 (鹿児島大学大学院)

6) 民俗資料

○クワ, マンノウ, パイスケ, ツチ, 桶 貸出, 11月15日~11月30日

横須賀市立小原台小学校 3年

○鎌, お膳, おひつ, おひつ入れ, アンカ, 火のし, 炭火アイロン, モンペ, 防空頭巾, 鉄瓶 貸出, 30年1月13日~1月26日

横須賀市立森崎小学校 3年

○おひつ, おひつ入れ, 電気釜, ザル, 火のし, 黒電話, 鉄瓶, 洗濯板, ミノ, 箱膳, 羽釜 貸出, 30年1月24日~2月21日

横須賀市立森崎小学校 3年

○三浦半島の漁撈用具 撮影, 30年2月3日

サンズイ舎

○おひつ, おひつ入れ, 炭火アイロン, 火のし, 自在鉤, お膳, 黒電話 貸出, 30年2月7日~3月14日

横須賀市立野比小学校 3年

○石板, おひつ, おひつ入れ, 炭火ごたつ, 火のし, 箱膳, モンペ, お釜 貸出, 30年2月21日~3月23日

横須賀市立荻野小学校 3年

○例年, 第1学習室において小学校3年社会科「昔の道具とくらし」の授業支援として昔の道具を展示していたが, 本年度は特別展示室で見学を行った. 特別展示の展示資料は本誌2ページに掲載.

vi. 博物館施設の利用 (調査・研究)

調査利用

○オグロイワシ標本調査, 4月25日

畑 晴陵 (鹿児島大学大学院)

○ウバウオ科魚類標本調査, 5月21日~24日

藤原恭司 (鹿児島大学大学院)

○海岸動物標本調査, 6月27日

伊藤寿茂・植田育男・北島 円・岩崎猛朗
(新江ノ島水族館)

○コケ植物相調査, 馬堀自然教育園, 7月28日・3月1日

鶴沢美穂子 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

○奄美群島産魚類標本調査, 8月26日

vii. 博物館施設の利用 (団体見学を含む)

1) 本館 (講座室・学習室・講堂・科学教室等)

○学校教育関係

神奈川県

日本大学生物資源科学部

横須賀市立田浦中学校

横須賀市立沢山小学校 6年

横須賀市立栗田小学校 6年

横須賀市立馬堀小学校 6年

三浦市立岬陽小学校 3年

横須賀市立船越小学校 3年

横須賀市立汐入小学校 3年

横須賀市立明浜小学校 3年

横須賀市立神明小学校 3年

横須賀市立大塚台小学校 3年

横須賀市立栗田小学校 3年

横須賀市立走水小学校 3年

横須賀市立根岸小学校 3年

横須賀市立鷹取小学校 3年

横須賀市立高坂小学校 3年

横須賀市立沢山小学校 3年

横須賀市立豊島小学校 3年

横須賀市立岩戸小学校 3年

横須賀市立望洋小学校 3年

横須賀市立浦郷小学校 3年

横須賀市立桜小学校 3年

横須賀市立夏島小学校 3年

横須賀市立山崎小学校 3年

横須賀市立田戸小学校 3年

横須賀市立馬堀小学校 3年

横須賀市立久里浜小学校 3年

横須賀学院小学校 3年

横須賀市立田浦小学校 3年

横須賀市立衣笠小学校 3年

横須賀市立浦賀小学校 3年

横須賀市立鴨居小学校 3年

横須賀市立大津小学校 3年

三浦市立上宮田小学校 3年

横須賀市立野比東小学校 3年

横須賀市立武山小学校 3年
横須賀市立公郷小学校 3年
横須賀市立小原台小学校 3年
横須賀市立大楠小学校 3年
横須賀市立大矢部小学校 3年
横須賀市鶴久保小学校 3年
横須賀市立明浜小学校
横須賀市立公郷小学校
横須賀市立森崎小学校
田園調布雙葉学園小学校
神奈川県教育委員会 四教育事務所
○研究団体・同好会ほか
横須賀木鳥会
相模湾海洋生物研究会
三浦半島活断層調査会
広尾地学研究会
横須賀シティガイド協会
湘南地球科学の会
関東古瓦研究会
好古会
相模民俗学会
退職公務員連盟横須賀支部

2) 天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

○学校教育関係
日本大学生物資源科学部
東京農業大学バイオセラピー学科
神奈川大学
神奈川県立生田高校
○研究団体・同好会ほか
佐島親善大使とその仲間たち

3) 馬堀自然教育園

○学校教育関係
横須賀市立浦賀小学校
○研究団体・同好会ほか
横須賀シティガイド協会
神奈川県青少年センター

4) ヴェルニー記念館

○学校教育関係
日本大学生物資源科学部
横須賀市立横須賀総合高等学校
芝浦工業大学附属中学校・高等学校歴史研究会

立教新座中学校・高等学校地歴部
横須賀市立田浦中学校
藤沢市立湘洋中学校
桐蔭中学校
横須賀市立野比東小学校
○研究団体・同好会ほか
96団体

2. 収集調査研究事業

i. 調査・研究

1) 地球科学

○三浦半島の地質調査 年間
○「足跡化石コレクションの構築と児童生徒が創造的、探究的に学習できる展示の開発」科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究課題（JP17K12968）年間
○米国西部での資料収集・地質調査・博物館施設調査科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）によって実施 10月5日～10月18日

担当：柴田

2) 動物

○三浦半島淡水生物調査 年間
○三浦半島沿岸生物調査 年間
○江ノ島海岸動物調査 4月27日～9月30日
新江ノ島水族館との協力により、藤沢市江ノ島の海岸性無脊椎動物相の調査を実施した。



江の島海岸動物調査

○奄美群島産魚類調査 6月12日～6月16日
国立科学博物館の生物多様性ホットスポット研究プロジェクトへの協力事業として、京都大学附属舞鶴水産実験場収蔵の魚類標本調査を実施した。



京大舞鶴実験場標本調査

担当：萩原

○三浦半島昆虫相調査 年間

○山口県の地域博物館における昆虫相調査 10月16日～21日

調査者は2010年～2013年に実施した「日本産ガロアムシ類生息状況調査」に際して、秋芳洞地域をはじめとする県内各地の山林での昆虫相調査を実施した。今回の調査は、「三浦半島の基本昆虫種」に関して、身近な昆虫相の差異が地域によってどれくらい際立つのか、過去の調査記録をベースとしてフィールドと各博物館の収蔵資料を通じて実施した追加調査である。調査に際しては、山口博物館の田中浩学芸員および秋吉台科学博物館の石田麻里学芸員および萩博物館の椋木博昭学芸員にそれぞれお世話になるとともに、豊田ホタルの里ミュージアムの川野敬介学芸員には有益な情報をいただいた。

主な調査地は以下のとおり。

- 10月16日 山口市立図書館
- 10月17日 県立山口博物館及び山口県中央部
- 10月18日 市立萩博物館及び山口県西部
- 10月19日 市立秋吉台科学博物館及び秋吉台
- 10月20日 コウモリ穴及び秋吉台
- 10月21日 山口市内

担当：内船



洞窟内のトビムシの一種



秋吉台のカマキリ（チョウセンカマキリ）の卵囊



秋吉台のセグロイナゴ
(神奈川県では準絶滅危惧種)

3) 植物

○三浦半島植物相調査 年間

○神奈川県内植物相調査、標本調査 年間

○植物相調査（藤沢新林公園）4月8日

○植物相調査（黒崎の鼻）5月12日

○標本調査（相模原市立博物館）5月24日、6月2日

○植物相調査（久里浜花の国）5月30日

○植物相調査（鷹取山）6月21日

○植物相調査（池子の森）6月30日、11月17日

○標本調査（横浜こども植物園）7月9日

○植物相調査（大楠山）7月14日

○伊豆大島植物調査 7月31日～8月2日

伊豆大島に生育するハチジョウベニシダ（三浦半島にも自生し、神奈川県では絶滅危惧植物に指定されている）及びそれに近縁なベニシダ類の生育環境調査を実施した。

○ハマオモト訪花昆虫及びフェノロジー調査（天神島臨海自然教育園）8月20・21日

○標本調査（厚木市郷土資料館）8月30日

○標本調査（平塚市博物館）9月22日

- 植物相調査(久里浜) 11月16日
- 研究打合せ(神奈川県立生命の星・地球博物館) 30年1月31日

担当: 山本

4) 考古

- 三浦半島の古墳調査 年間
- 遺跡調査(横浜市青葉区市ヶ尾) 4月7日
- 遺跡調査(埼玉県鴻巣市生出塚) 4月12日
- 遺跡調査(横浜市磯子区久木町) 4月19日
- 遺跡調査(川崎市高津区下作延) 4月26日
- 遺跡調査(横浜市神奈川区浦島丘) 4月28日
- 遺跡調査(横浜市都筑区中央公園) 5月31日
- 資料調査(栃木県佐野郷土博物館) 6月7日
- 遺跡調査(海老名市国分) 6月14日
- 遺跡調査(鎌倉市由比ヶ浜) 6月28日
- 資料調査(国会図書館) 7月5日, 8月23日
- 資料調査(神奈川県立埋蔵文化財センター) 7月12日
- 遺跡調査(横浜市南区弘明寺町) 7月20日
- 遺跡調査(横浜市港南区野庭町) 8月2日
- 遺跡調査(横浜市港北区新羽町) 9月6日
- 遺跡調査(横浜市南区中村町) 9月20日
- 遺跡調査(埼玉県さいたま市桜区) 9月21日
- 遺跡調査(横浜市南区大岡) 9月29日
- 遺跡調査(葉山町一色) 10月5日, 30年3月7日
- 資料調査(埼玉県鴻巣市) 11月21日
- 遺跡調査(三浦市三戸) 12月6日
- 遺跡調査(川崎市川崎区池田町) 12月8日
- 資料調査(横浜市歴史博物館) 12月12日
- 遺跡調査(三浦市南下浦町毘沙門) 12月20日, 30年2月8日
- 遺跡調査(三浦市南下浦町金田) 12月26日
- 遺跡調査(横浜市金沢区柴町) 30年1月17日
- 遺跡調査(三浦市南下浦町松輪) 30年1月31日, 3月28日
- 資料調査(鎌倉歴史文化交流館) 30年2月22日
- 遺跡調査(東京都台東区上野) 30年2月27日
- 遺跡調査(三浦市下宮田黒崎鼻) 30年3月20日

担当: 稲村

5) 土木・建築史

- 近代建築史・土木史研究 年間
- 歴史資料調査(米海軍横須賀基地) 5月31日, 7月26・28日)

- 資料調査(横須賀市長浦町) 6月14日
- 調査(千代ヶ崎砲台) 7月17日
- 視察調査(平塚市立博物館) 12月6日
- 近代建築調査(横須賀市平作)) 30年2月12日
- 地盤工学会調査・会議 30年3月14日

担当: 菊地

6) 民俗

- 三浦半島の民俗調査 年間
- 資料調査(三浦市) 4月12日
- 祭礼調査(三浦市) 4月16日
- 年中行事調査(横浜市鶴見区) 4月29日
- 資料調査(横浜市立中央図書館) 5月11日
- 資料調査(長浦) 5月18日
- 資料調査(横浜市歴史博物館) 5月21日
- 資料調査(文京ふるさと歴史館) 6月8日
- 資料調査(長浦) 6月14日
- 年中行事調査(津久井) 7月8日
- 年中行事調査(横浜市戸塚区) 7月14日
- 祭礼調査(長井) 7月15日
- 祭礼調査(長井・佐島) 7月16日
- 資料調査(池田町) 7月19日
- 資料調査(昭和のくらし博物館) 7月21日
- 資料調査(ふじさわ宿交流館) 7月30日
- 資料調査(東京都渋谷区) 8月4日
- 資料調査(取手市埋蔵文化財センター) 8月5日
- 資料調査(富岡製糸場・富岡市立美術博物館・群馬県立自然史博物館) 8月7日
- 年中行事調査(三浦市) 8月12日
- 祭礼調査(ハイランド) 8月13日
- 三陸地方の漁撈習俗調査(宿泊調査): 9月15日～21日

カツオなどの回遊魚を求めて三陸地方まで出漁した漁師たちによって、三浦半島や房総半島と三陸地方は共通した民俗が存在する。そのなかで今年度は、漁師のハレ着である万祝と民俗芸能である虎踊り(三陸では虎舞)を主に調査し、その共通点と相違点、他地域への伝播を確認した。あわせて、東日本大震災が虎舞などの民俗芸能に及ぼした影響についても調査した。

- 9月15日 八戸市博物館
- 9月16日 大槌町調査
- 9月17日 大槌町調査
- 9月18日 岩手県立水産科学館
- 9月19日 大槌町調査

9月20日 大船渡市立博物館

9月21日 遠野市立博物館 北上市立博物館

三陸地方では、万祝をカンバンやハンテンと呼ぶことが多く、生地に格子柄があしらわれることがあるなどの違いが確認できたが、正月や祭礼時に着用する点、裾模様に縁起物や漁の様子を描いている点は共通していた。

横須賀の虎踊りは演劇の要素が多分にあるが、三陸の虎舞は演劇の要素はほとんどなく獅子舞に近いものであった。おそらく、横須賀の虎踊りも三陸の虎舞も歌舞伎の「国性爺合戦」の影響を受けていると思われるが、三陸では既存の獅子舞に虎の容姿のみが取り込まれたと考えられる。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた岩手県大槌町では、中心部のかさ上げ工事が完了間近である。かさ上げ工事が始まる前は、たとえ津波で何も残ってなくても自宅があった場所でまつり行列を待っていたが、かさ上げ後はまつり行列を待つ人もほとんどいなくなってしまったとのことである。また、震災後から門打ち（門付けのこと）をはじめた民俗芸能があったり、虎舞の門打ちに鎮魂の意味が付与されたりなど、震災後の民俗変化が確認できた。



大槌町の虎舞

- 資料調査（長井）9月29日
- 資料調査（相模原市立博物館）10月12日
- 資料調査（佐島）10月27日
- 資料調査（栃木県立博物館・真岡木綿会館）11月9日
- 資料調査（国会図書館）11月14日
- 資料調査（長井）30年1月11日
- 資料調査（野比）30年1月13日
- 年中行事調査（伊勢原市）30年1月14日
- 年中行事調査（三浦市）30年1月15日

- 資料調査（神奈川県立公文書館）30年1月27日
- 資料調査（平作）30年2月12日
- 年中行事調査（東京都江戸川区）30年2月25日
- 年中行事調査（走水）30年3月10日
- 資料調査（川崎市市民ミュージアム）30年3月18日
- 資料調査（長野市立博物館）30年3月20日
- 祭礼調査（佐島）30年3月25日

担当：瀬川

ii. 委員・指導・協力等

- 歴史遺産に関する今後の地盤工学研究の方向性検討委員会委員，年間，公益社団法人地盤工学会関東支部
担当：菊地
- 横須賀市樹林地管理モデル事業（昆虫）調査（光の丘水辺公園，衣笠山公園）協力，年間，横須賀市自然環境共生課
担当：内船
- スズメバチトラップ調査 協力，年間，横須賀市保健所
担当：内船
- 三浦半島活断層調査会リーフレット作成委員会，年間，三浦半島活断層調査会
担当：柴田
- 日本節足動物発生学会事務局・会計幹事・編集幹事，年間，日本節足動物発生学会
担当：内船
- 三浦半島昆虫研究会編集委員，年間，三浦半島昆虫研究会
担当：内船
- 神奈川県レッドリスト委員会植物・菌類部会委員，年間
担当：山本
- 横須賀植物会顧問，年間，横須賀植物会
担当：山本
- 神奈川県植物誌調査会役員，年間，神奈川県植物誌調査会
担当：山本
- 相模民俗学会運営委員，年間，相模民俗学会
担当：瀬川
- 「横須賀市内のスズメバチトラップ設置調査」指導，30年3月20日，横須賀市保健所，生活衛生課
担当：内船

iii. 研究発表

1) 地球科学

(口頭発表等)

○大木耀成・柴田健一郎・伊藤 慎：三浦半島新第三系三崎層の火山砕屑性インジェクタイトの形成過程. ポスター発表. 日本地質学会第124年学術大会. 9月18日. 愛媛大学城北キャンパス.

○浅見茂雄・柴田健一郎：三浦半島の北武断層帯ガウジを削った大波. 口頭発表. 日本活断層学会 2017年度秋季学術大会. 11月25日. 広島大学東千田未来創生センター.

(論文等)

○Shibata K., Adhiperdana B. G. and Ito M. Quantitative reconstruction of cross-sectional dimensions and hydrological parameters of gravelly fluvial channels developed in a forearc basin setting under a temperate climatic condition, central Japan. *Sedimentary Geology*, 363 : 69–82. November.

○柴田健一郎・浅見茂雄：断層破碎帯で発生した斜面変動：横須賀市野比海岸における北武断層での事例報告. 横須賀市博研報 (自然), (65) : 15–18. 3月

2) 動物

(口頭発表等)

○内船俊樹・山本 薫・新津修平：神奈川県横須賀市西部における24時間調査, 第38回菅平動物学セミナー (筑波大学, 12月2日)

○内船俊樹：商店街イベントへの参画による「つながる地域博物館」の試み. 第25回全国科学博物館協議会研究発表大会 (福岡市科学館, 30年2月15日)

(論文等)

○伊藤寿茂・植田育男・萩原清司・北島 円・岩崎猛朗・村石健一・崎山直夫：江ノ島の潮間帯動物相VII. 神奈川県自然誌資料, (39) : 13–21. 30年3月

○萩原清司・斎藤和久・木村喜芳・横須賀市自然環境共生課：横須賀市から初記録の淡水魚4種. 横須賀市博研報 (自然), (65) : 23–24. 30年3月

○Nakae, T., Motomura, H., Hagiwara, K., Senou, H., Koeda, K., Yoshida, T., Tashiro, T., Jeong, B., Hata, H., Fukui, Y., Fujiwara, K., Yamakawa, T., Shinohara, G. and Matsuura, K.: An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Men. Natl. Mus. Nat. Sci. Tokyo*, (52) : 205–361. 30年3月

○内船俊樹・山本 薫：今また郷土とつながる～地域を感じる新たなステップ～. 社会教育推進全国協議会編『日本の社会教育実践2017 第57回社会教育研究全国集会資料集』, 154–156. 8月

○内船俊樹：商店街イベントへの参画による「つながる地域博物館」の試み. 第25回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, 21–29. 30年2月

○内船俊樹・横須賀市保健所生活衛生課：2017年横須賀市におけるスズメバチ類のベイトトラップ調査. 横須賀市博研報 (自然), (65) : 1–5. 30年3月

3) 植物

(口頭発表等)

○山本 薫・内船俊樹：今また郷土とつながる～地域を感じる新たなステップ～, 第57回社会教育研究全国集会第16分科会 (相模原市立博物館, 8月27日)

(論文等)

○Ebihara A., Matsumoto S., Mazumdar and Yamamoto K.: Updates of Taxonomic Treatments for Ferns of Japan 2. *Athyrium and Cyrtomium*. *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. B*, 43 (1): 19–25. 30年2月

○水上眞知子・青木清勝・田中和徳・中村洋一・平野素・山室静子・山本 薫：逗子市池子の森自然公園の植物相調査. 横須賀市博研報(自然), (65) : 7–14. 30年3月

4) 考古

(論文等)

○稲村繁：神奈川県 埴輪 (II) — 外来系埴輪の分布と交通路 (前) —. 横須賀市博研報 (人文), (62) : 1–20. 12月.

5) 歴史

(論文等)

○安池尋幸・太田現一郎・青木猛：「横須賀が成し遂げたマイクロ波無線技術の源流を辿る 横須賀無線史 (第1回ペリーの電信機実験から津田沼～横須賀間50km無線実験まで)」。RFワールド, (40) : 130–143. 11月 CQ出版

○安池尋幸：元治元年内海四番御台場土丹石切り出しの経緯—相模国三浦郡北部の事例—. 横須賀市博研報 (人文), (62) : 21–39. 12月.

○安池尋幸：幕末維新期横須賀製鉄所の付属施設について(1). 横須賀市博研報 (人文), (62) : 41–54. 12月.

月.

○安池尋幸：幕末維新期横須賀製鉄所の附属施設について(2). 横須賀市博研報 (人文), (62): 55-68. 12月.

6) 民俗

(論文等)

○瀬川渉: 語りのなかの横須賀—森光司氏の語り 5—.

横須賀市博研報 (人文), (62): 69-76. 12月.

○瀬川渉: 横須賀市における講の現状. 民俗 (相模民俗学会), (242): 1-6 30年1月

iv. 執筆 (研究発表を除く)

1) 地球科学

○鈴木 進・浅見茂雄・石田敏和・川瀬淑子・柴田健一郎・布施憲太郎 深海から生まれた三浦半島シリーズ I 躍動する荒崎海岸. 三浦半島活断層調査会. (横須賀市市民協働推進補助金を受けて作成)

○柴田健一郎 過去の温暖化～大津砂泥部層～. よこすか ECO 通信, (27): 4.

2) 動物

○本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江正典 (編) 2018 奄美群島の魚類. 414 ページ, 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市, 横須賀市自然・人文博物館, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原市, 国立科学博物館, つくば市.

(WEB 公開: www.museum.kagosima-uac.jp)

○内船俊樹 2017 ハチの巣のリユース!?. よこすか ECO 通信, (26): 4.

○内船俊樹 2017 虫えいノブドウミフクレフシ中のタマバエとトリバガ. かまくらちょう, (92): 7-9.

○内船俊樹・赤池宣介 2017 葉山町でキマダラカメムシを採集. かまくらちょう, (92): 9.

○内船俊樹 2017 猿島におけるツクツクボウシの活動時期. かまくらちょう, (92): 44-45.

○内船俊樹 2017 石渡さんに学んで. かまくらちょう, (92): 67-69.

○内船俊樹 2017 マイ・ベスト昆虫写真 2016 各部門グランプリ作品. かまくらちょう, (92): 69-70.

○内船俊樹 2017 かまくらちょう写真館 H (ヒメスギカミキリ). かまくらちょう, (92): 71.

○内船俊樹 2017 かまくらちょう写真館 I (肉団子をつくるセグロアシナガバチ). かまくらちょう, (92):

72.

○内船俊樹 2018 マイ・ベスト昆虫写真 2017 各部門グランプリ作品. かまくらちょう, (93): 63-64.

○内船俊樹 2018 かまくらちょう写真館 E (触角も使いよう). かまくらちょう, (93): 65.

v. 寄贈資料 (敬称略)

1) 地球科学

○アンモナイト 1 件・ひすい 1 件, 30年3月3日 大淵裕子

2) 動物

○カワセミ 1 点, 9月23日 木村千亜樹

○貝類標本 280 点, 11月21日 須田由美

○クダサンゴ・オウギウミヒドラ 各 1 点, 2月11日 細谷 栄

○ホテイエソ 1 点, 3月10日 匿名希望

3) 歴史

○旧海軍資料 13 点, 8月30日 久保木実

○旧海軍指揮刀ほか 136 点, 9月9日 深見国男

○旧海軍食器ほか 130 点, 9月27日 永久淳雄

○戦時公債証書ほか 6 点, 30年2月16日 佐藤誠

○大東京写真帖ほか 4 点, 30年2月25日

大澤房江

○かつお・まぐろ漁業許可名簿(昭和 36 年 12 月末現在)

ほか 3 点, 30年3月22日 西口公章

4) 民俗

○鴨居の和船作り記録 (スライド) 1 件 4月21日 浦賀行政センター

○かいまき 1 件 5月26日 片山綾子

○傘用ミシン 1 点 6月22日 坪井隆治

○東芝ルポほか 1 件 7月25日 岩間久雄

○アコーディオン 1 点 7月22日 永嶋省吾

○船大工道具 一式 10月27日 山本喜久治

○足踏み式オルガン 1 点 12月1日 荒井町内会

○鉄人 28 号ブリキ人形ほか 1 件 30年1月16日

片本敏子

○下駄屋道具一式ほか 1 件 30年1月27日

青木正雄

○回想法セット 1 件 30年2月24日 今枝直子

○昔の教科書 1 件 30年3月28日 千葉美佐子

vi. 借用資料

1) 歴史

○船筆筒 1点, 4月1日(常設展示品として継続的に借用) 幸保富雄

○新見家伝来古文書 1点, 5月1日~30年3月30日 新見正裕

2) 民俗

○万祝画像 12月16日~30年3月31日(特別展示用に借用) 八戸市博物館

○万祝画像 12月16日~30年3月31日(特別展示用に借用) 大船渡市立博物館

3. 分類整理保存事業

i. 登録資料()内は新規登録件数

1) 自然科学資料

地球科学	5,548件	(46件)
古生物資料	2,607件	(46件)
岩石資料	833件	(0件)
鉱物資料	180件	(0件)
地質調査報告書	1,928件	(0件)
動物	94,760件	(111件)
昆虫資料	36,354件	(25件)
魚類資料	45,912件	(84件)
軟体動物資料	9,492件	(0件)
両生爬虫類資料	580件	(2件)
鳥類資料	944件	(0件)
甲殻類資料	1,070件	(0件)
哺乳類資料	408件	(0件)
植物・菌類	75,578件	(590件)

2) 人文科学資料

考古	84件	(0件)
歴史	397件	(8件)
登録銃砲刀剣類	18件	(0件)
民俗	709件	(11件)

3) 図書資料

自然科学部門	96,387冊	(954冊)
人文科学部門	65,913冊	(844冊)

ii. 文化財害虫と空中浮遊菌類の燻蒸及び調査燻蒸消毒

文化財収蔵庫において殺菌・殺虫効果のある燻蒸剤「アルプ」を使用した燻蒸をおこなった。第3資料室, 調査研究室, 大型資料室, 第1民俗資料室においてピレスロイド系殺虫剤の空中噴霧による燻蒸を行った。効果判定材料である供試虫の致死率100%が認められた。



7月22日~7月28日, 担当: 瀬川・山本

調査

文化財収蔵庫, 第3資料室, 調査研究室, 大型資料室, 第1・第2民俗資料室, 第1・第2歴史資料室, 人文資料室, 恒温恒湿室, 資料整理室, 考古資料室, 視聴覚資料室, 自然研究室, 図書室, 特別展示室, 特別展示準備室, 人文館展示室, 自然館展示室において, インセクトトラップ・フェロモントラップを設置し, 歩行性昆虫類やタバコシバンムシなどの文化財害虫の生息状況を調査した。各所でチャタテムシ類が捕獲され, 一部では歩行性昆虫類も捕獲された。シバンムシ類の捕獲はほぼなかった。捕獲数が多い個所には, 樹脂蒸散性防殺虫剤を設置した。

7月27日~9月1日, 担当: 瀬川・山本

iii. 国指定重要文化財スチームハンマーの保存環境測定・定期保守点検

保存環境測定

ヴェルニー記念館で保存・管理する国指定重要文化財スチームハンマーについて, その保存に影響する因子の特定及び今後の維持管理方法の検討データのため, 空気環境データを年2回測定した。

29年8月10日・30年2月15日, 担当: 菊地

1) 測定場所

ヴェルニー記念館(東逸見町1-1)の室内外の計2地点。

2) 測定項目および方法

①濾過捕集による「浮遊粒子状物質(SPM)」の重量濃度測定, ②ザノレツマン吸光光度法による「二酸化窒素」の濃度測定, ③濾過捕集による「粒子状酸性成分」濃度のイオンクロマト分析の3項目で, ①, ②は日中時間内の1時間値を1回, ③は日中時間内の6時間値を1回測定した。

3) 測定結果

測定結果は「表 平成29年度 測定結果一覧」のとおり。アルデヒドにおける不検出値は、「ホルムアルデヒド8以下、アセトアルデヒド5以下」で、粒子状酸性成分における不検出値は、「塩化物イオン0.069以下、その他0.17以下」とした。気象条件等も併せて記録した。

表 平成29年度 測定結果一覧

調査項目	29年8月10日		30年2月15日	
	室内	室外	室内	室外
天候	—	曇	—	晴
気温(℃)	28	27	17	11
湿度(%)	55	82	38	53
風向	—	北西	—	北
風速(m/s)	—	1.8-4.0	—	0.8-2.5
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.004	0.007	0.004	0.008
ホルムアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出
アセトアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出
酸性成分	塩化物イオン(μg/m ³)	不検出	5.3	不検出
	亜硝酸イオン(μg/m ³)	不検出	不検出	不検出
成分	硝酸イオン(μg/m ³)	0.80	5.7	1.0
	硫酸イオン(μg/m ³)	1.7	7.0	2.3

定期保守点検

国指定重要文化財スチームハンマー2基(旧横須賀製鉄所設置、1865年オランダ製：①0.5トン片持ち形・②3トン門型)の保存処理と保存状態の点検を行った。

7月18日・12月11日、担当：菊地・鈴木

4. 管理事業

i. 人事

4月1日 着任 館長 阪元美幸(教育総務部教育政策担当から)

4月1日 転入 課長 永嶋省吾(こども育成部こども育成総務課から)

4月1日 転入 係長 越水洋一(福祉部指導監査課から)

4月1日 転入 主任 横山靖志(港湾部港湾総務課から)

4月1日 再任用 考古学担当 稲村 繁

30年3月31日 転出 係長 越水洋一(教育総務部生涯学習課へ)

30年3月31日 退職 非常勤職員 眞覚(長島) さくら

ii. 入館者統計

馬堀：馬堀自然教育園，天神：天神島臨海自然教育園(ビジターセンター含む)，ヴェル：ヴェルニー記念館

月	本館	馬堀	天神	ヴェル	全体
4	4,259	140	4,777	10,729	19,905
5	3,906	245	9,167	18,260	31,578
6	3,775	532	5,119	12,795	22,221
7	4,221	204	7,926	7,164	19,515
8	5,392	145	7,552	11,527	24,616
9	4,072	311	6,885	7,656	18,924
10	3,142	170	3,938	6,250	13,500
11	4,005	330	3,739	6,967	15,041
12	4,225	228	2,464	4,949	11,866
1	5,059	98	2,882	5,513	13,552
2	5,262	115	3,129	6,228	14,734
3	5,357	206	4,225	7,373	17,161
計	52,675	2,724	61,803	105,411	222,613

iii. 予算

平成29年度(給与費を除く。単位：千円)
自然教育園費はビジターセンター費を含む

資料収集調査研究費	1,972
資料分類整理保存費	7,465
展示教育普及費	7,715
営繕工事費	123,382
博物館本館費	60,626
自然教育園費	22,499
ヴェルニー記念館費	9,012
計	232,671

iv. 営繕工事

○自然・人文博物館空調設備改修工事(熱源・講座室系統)

自然・人文博物館の全館空調用冷温水発生機及び人文博物館1階講座室用空調機は、経年劣化による腐食、機能停止並びに機能低下が著しいため、改修工事を実施した。

○自然・人文博物館監視設備改修工事

自然・人文博物館の監視設備(防犯カメラ)は、経年劣化による機能停止及び機能低下が著しいため、改修工事を実施した。

v. 消防訓練

1月26日の文化財防火デーにあわせ、平成30年1月24日に横須賀市中央消防署と共催で消防訓練をおこなった。



消防訓練

vi. 研修会等の実施・参加

- 神奈川県博物館協会平成29年度第2回研修会 参加, 6月20日, 八景島シーパラダイス 山本
- 日本博物館協会「全国博物館大会」参加, 11月28日~12月1日, 大分県立美術館 萩原

職員名簿(平成29年度)

館長	長	阪元 美幸	
課長	長	永嶋 省吾	
係長	長	越水 洋一	
主任		梅澤 保行	
主任		横山 靖志	
主任		坪井 静子	
(自然博物館担当)			
学芸員・主査		萩原 清司	海洋生物学
学芸員・主任		柴田 健一郎	地球科学
学芸員・主任		内船 俊樹	昆虫学
学芸員		山本 薫	植物学
(人文博物館担当)			
学芸員・主査		菊地 勝広	建築史学
学芸員		瀬川 涉	民俗学
学芸員		安池 尋幸	文献史学
学芸員		稲村 繁	考古学
(天神島臨海自然教育園・ビジターセンター担当)			
非常勤職員		喜多村美緒子	
非常勤職員		眞覚(長島) さくら	
博物館研究員		新津 修平	昆虫学 (日本鱗翅学会)
		大前 悦宏	植物学 (横須賀植物会)
		安室 知	民俗学 (神奈川大学)
		鈴木 稔	機械工学 (サースエンジニアリング)

【表紙写真解説】

横須賀市神明町蓼原古墳出土弾琴男子椅座像埴輪

古久里浜湾南岸に広がる低砂堆上に単独で築造された、全長28mの帆立貝形前方後円墳である蓼原古墳から出土している。昭和12(1937)年に赤星直忠が発掘した際に出土した人物埴輪上衣裾片・右足片と、横須賀市教育委員会が昭和53(1978)・55(1980)年に実施した発掘調査で出土した弾琴男子椅座像埴輪が接合した。

総高73.5cmを測る。簡略化された表現ではあるが、床几と思われる椅子に座り4弦の琴を弾いている。縁にリボン状の飾りを配した烏帽子状の冠帽を被り、垂髪を伴う美豆良が表現されることから、高貴な男子とわかる。右手には上半部が折れた篋状の撥が握られていることから、高句麗のコムンゴにおけるスルテや雅楽の和琴における琴軋のように、古墳時代の琴も棒状の器具を使ってかき鳴らしていたことがわかる。

垂下帯付美豆良や連続三角文の多用、頭部の成形方法などから、6世紀前半に群馬県東部で製作され直接供給された可能性が高い。昭和53年以降の出土遺物は本館に所蔵されているが、昭和12年に出土した形象埴輪のうち家と女子は神奈川県立歴史博物館、馬は京都大学総合博物館が所蔵している。

(稲村 繁)